王滝村

ハザードマップ

2025年
保存版

王滝村

王滝村ハザードマップ　目次

- 目次 …… 1
- 王滝村ハザードマップ活用方法 …… 2
- 王滝村全体図 …… 3・4
- 1 此島地区 …… 5・6
- 2 二子持地区 …… 7・8
- 3 鞍馬・崩越地区 …… 9・10
- 4 中越地区 …… 11・12
- 5 中越・東・下条・上条・野口地区 …… 13・14
- 6 野口地区 …… 15・16
- 7 氷ヶ瀬地区 …… 17・18
- 8 東・上条地区 …… 19・20
- 9 東地区 …… 21・22
- 10 九蔵地区 …… 23・24
- 11 九蔵地区 …… 25・26
- 12 九蔵地区 …… 27・28
- 13 東・りんどう平地区 …… 29・30
- 14 高原地区 …… 31・32
- 15 高原地区 …… 33・34
- 16 八海山地区 …… 35・36
- 17 田ノ原地区 …… 37・38
- 18 滝越地区 …… 39・40
- 避難施設 …… 41・42
- 避難情報・気象情報 …… 43
- 避難情報の発令 …… 44
- 風水害への備え …… 45・46
- 洪水について …… 47
- 土砂災害について …… 48
- マイタイムラインを作成しよう …… 49・50
- わが家の防災メモ …… 裏表紙

王滝村ハザードマップ活用方法

ハザードマップの活用方法について

①住んでいる場所と予想される浸水の深さを地図上で確認しましょう

このハザードマップには、予想される浸水の範囲と深さがランク別に色分けされています。自分の住んでいる場所は浸水の危険があるのか、予想される浸水の深さはどれくらいになるのかを確認しましょう。
ただし、予想される浸水は、このとおりにはならないことがあります。

②避難場所を確認しましょう

このハザードマップP41・42の避難施設一覧で、自分の住んでいる地区で指定されている避難施設がどこかを確認しましょう。そして、地図上でその避難施設がどこにあるのか、場所の確認をしましょう。

③避難経路を考えてみましょう

このハザードマップで自分が住んでいる場所から避難施設まで、どの道を通れば良いか、避難経路を地図上で確認しましょう。
地図上での確認が済んだら、実際に避難施設まで歩いてみましょう。安全で歩きやすい道を選び、避難施設までの経路を確認して、所要時間も計ってみましょう。実際に避難するときは、夜間・大雨・大人数での移動が考えられるため、所要時間は平常時の倍以上かかる可能性があります。

④家族や周辺住民と情報を共有しましょう

このハザードマップは家族と一緒に確認しましょう。地震、台風や大雨により、避難が必要になったときは、周辺住民、親戚、知り合いなどに、これから避難することと、避難先を伝え、どこの施設に避難しているのか分かるようにしておきましょう。
安否確認には、災害用伝言ダイヤル(171)の利用も有効です。

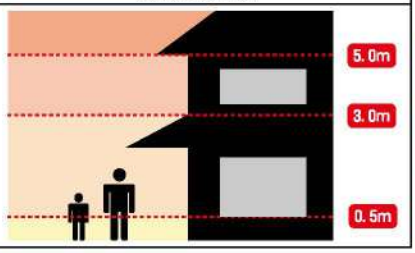
地図の見方　凡例

●洪水ハザードマップの説明

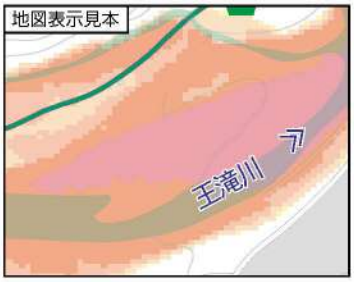
浸水想定区域は、県管理河川の河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1000年に1回程度の降雨)に伴う洪水により王滝川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
前提となる降雨:王滝川流域に48時間で661mmの降雨を想定

凡例（浸水想定区域）　想定最大規模	
浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m 以上の区域	
10.0～20.0m 未満の区域	
5.0～10.0m 未満の区域	
3.0～ 5.0m 未満の区域	
0.5～ 3.0m 未満の区域	
0.5m 未満の区域	

浸水の深さの目安

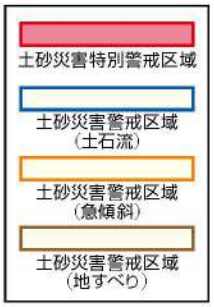


地図表示見本



●土砂災害ハザードマップの説明

土砂災害警戒区域は、長野県が取りまとめたデータを基に掲載されています。一定の地理的条件や保全対象(人家や公共施設)を有する箇所について表示している為、この地図に示した箇所以外でも土砂災害が発生する危険があります。



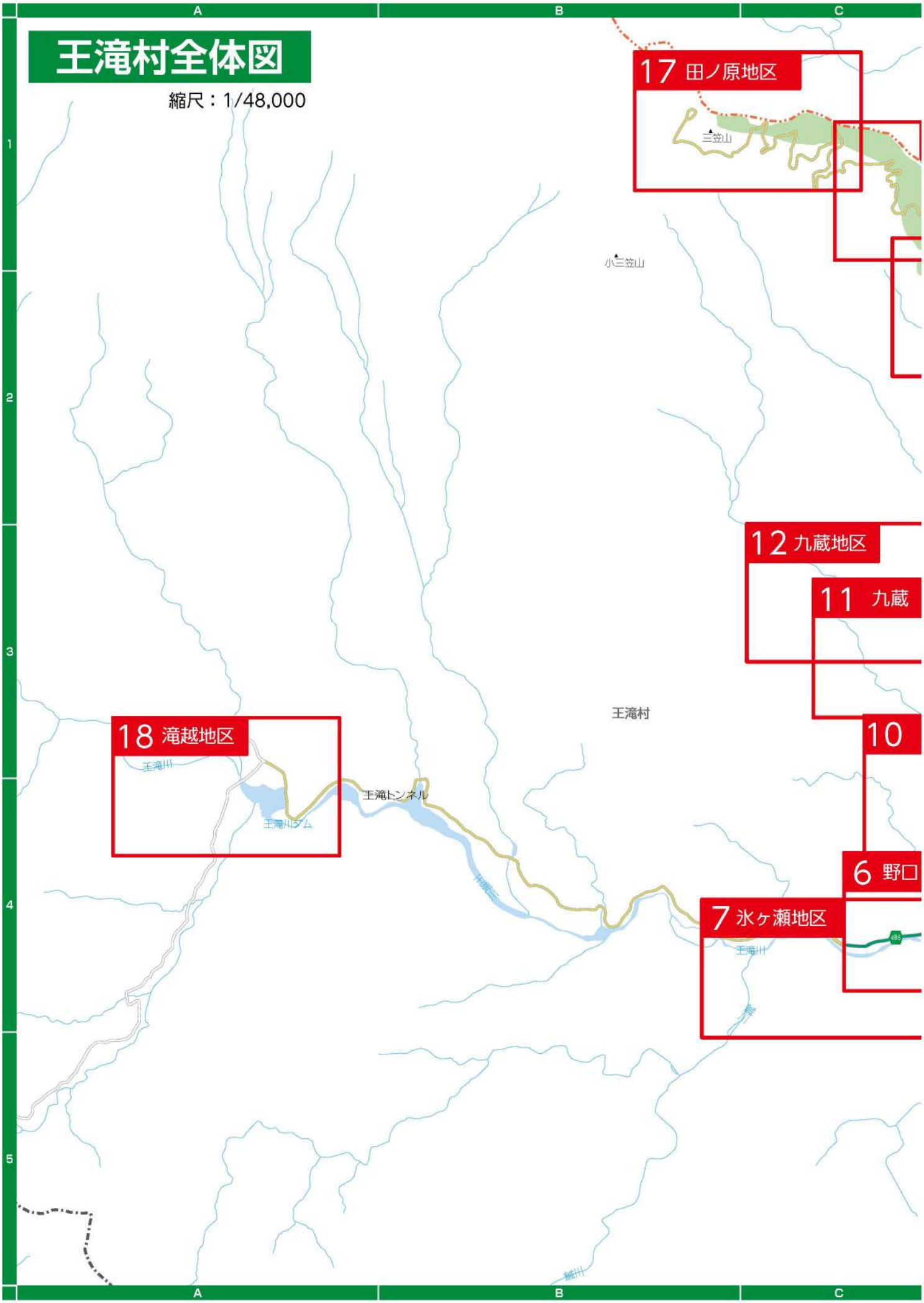
地図表示見本

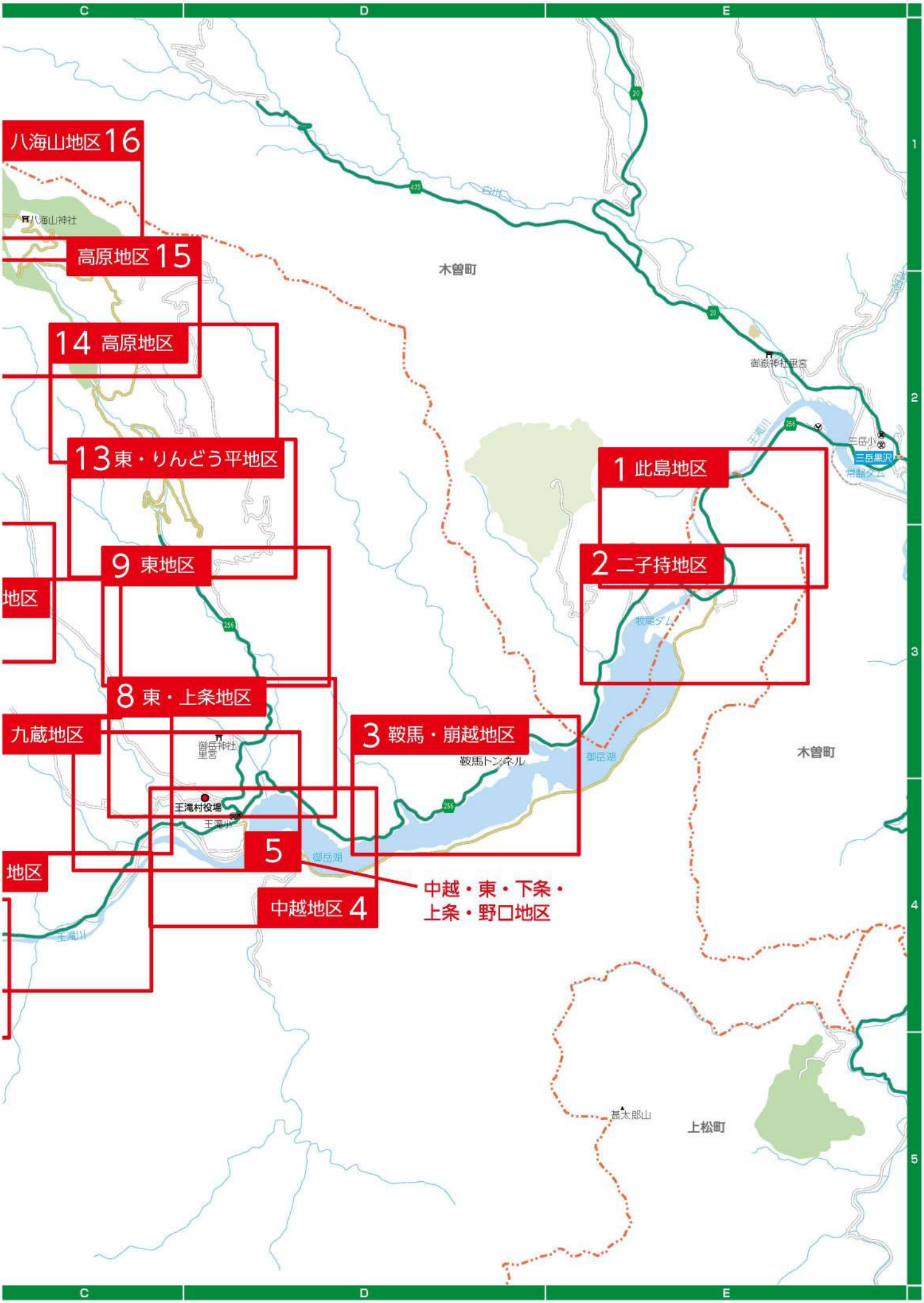
●凡　例

指定避難所	河川カメラ	駐在所	主要地方道・県道
指定緊急避難場所	水位計	消防団	主要村道
福祉避難所	AED設置箇所	郵便局	
ヘリポート	役場	診療所	市町村界

王滝村全体図

縮尺：1/48,000





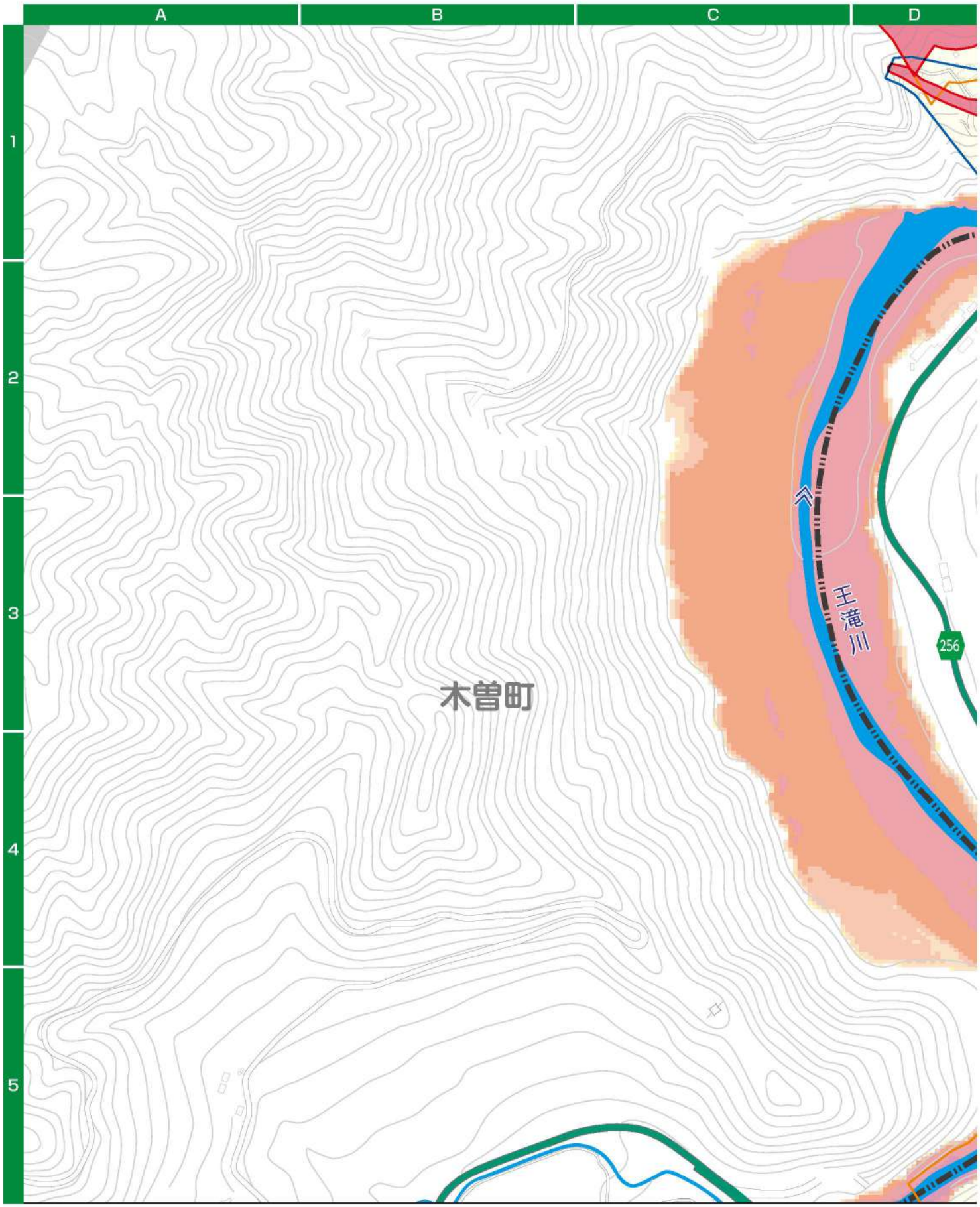
©ZENRIN CO.,LTD. 2025

災害（洪水・土砂）ハザードマップ 1

此島地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

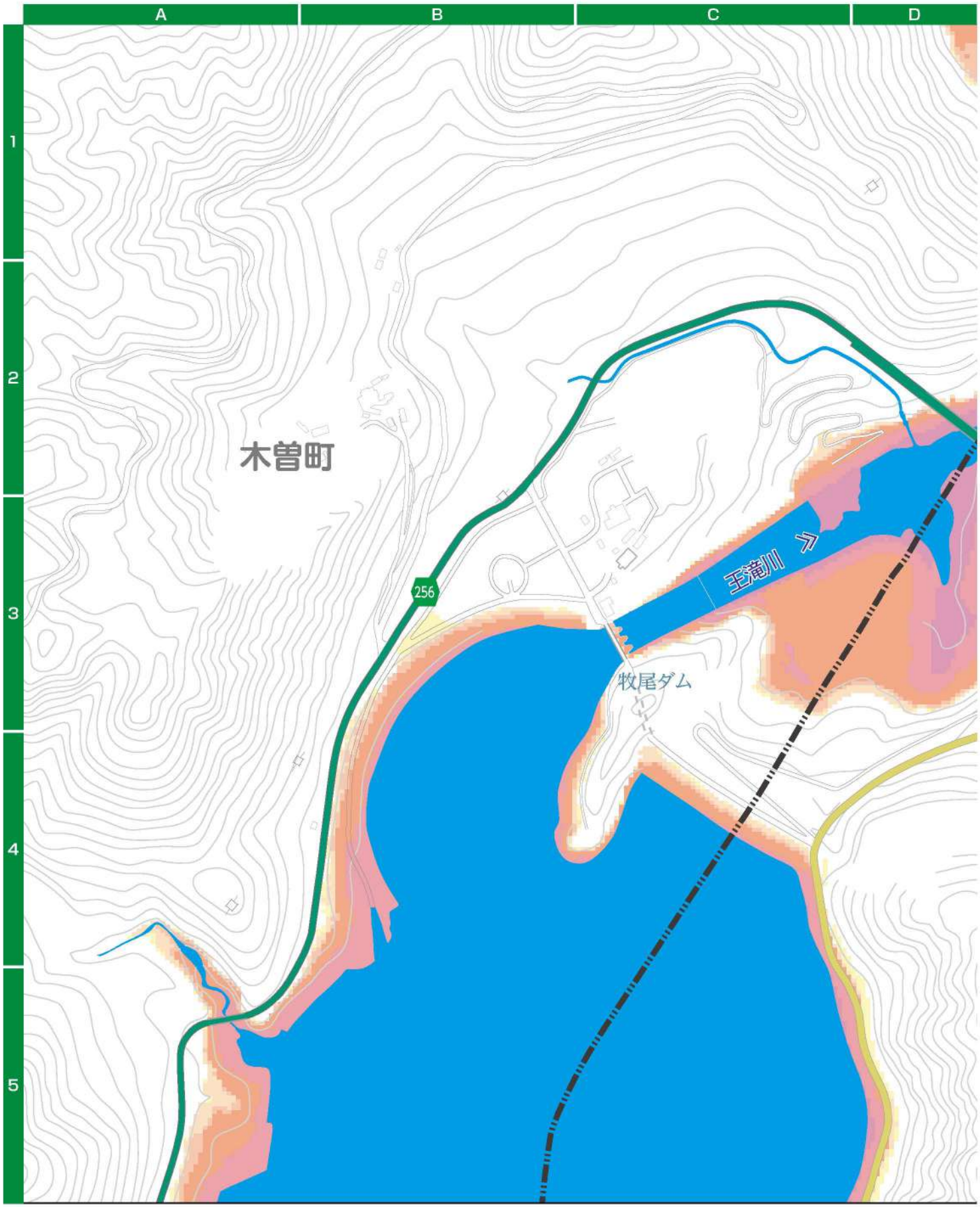
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

災害（洪水・土砂）ハザードマップ 2

二子持地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

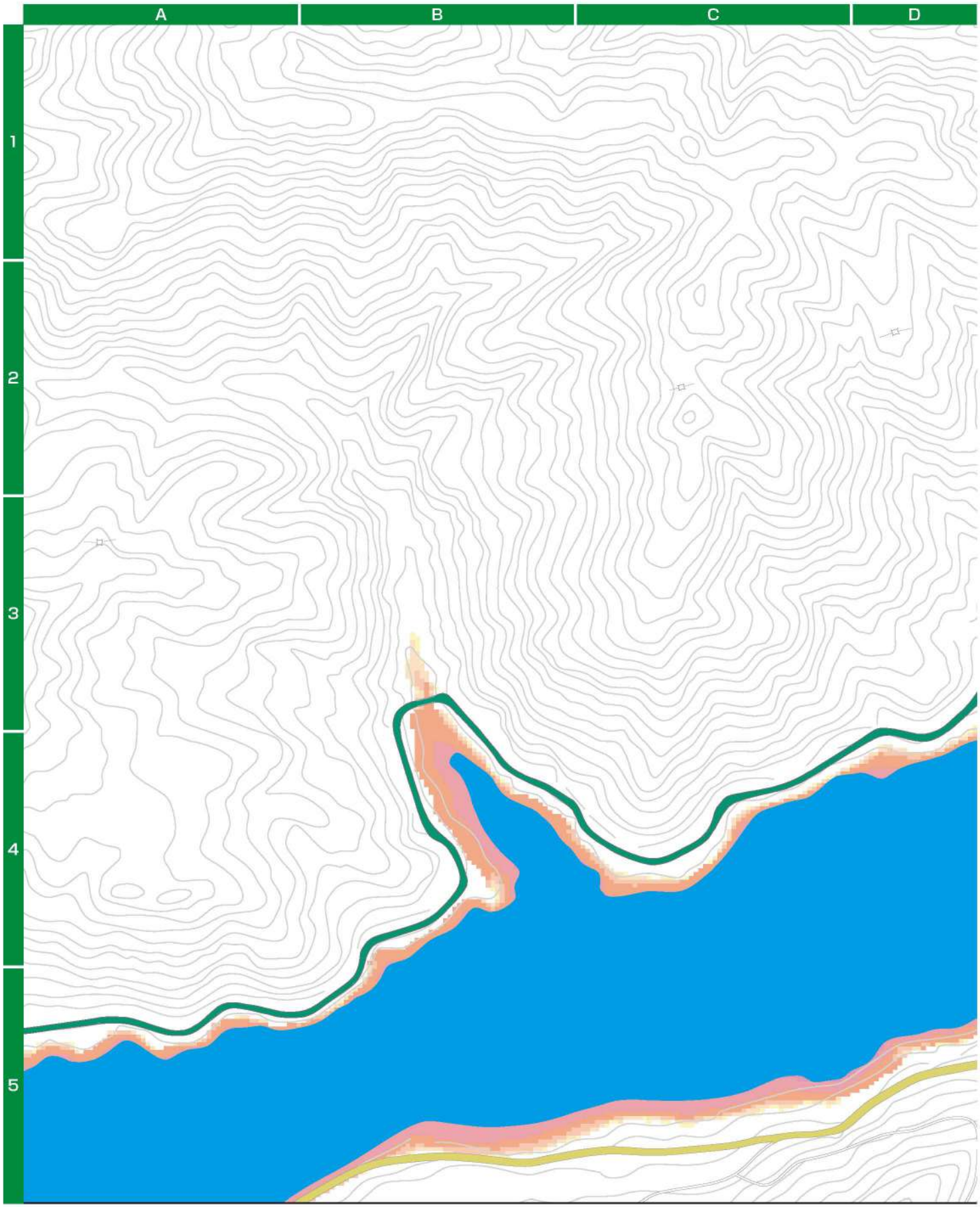
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

災害（洪水・土砂）ハザードマップ 3

鞍馬・崩越地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

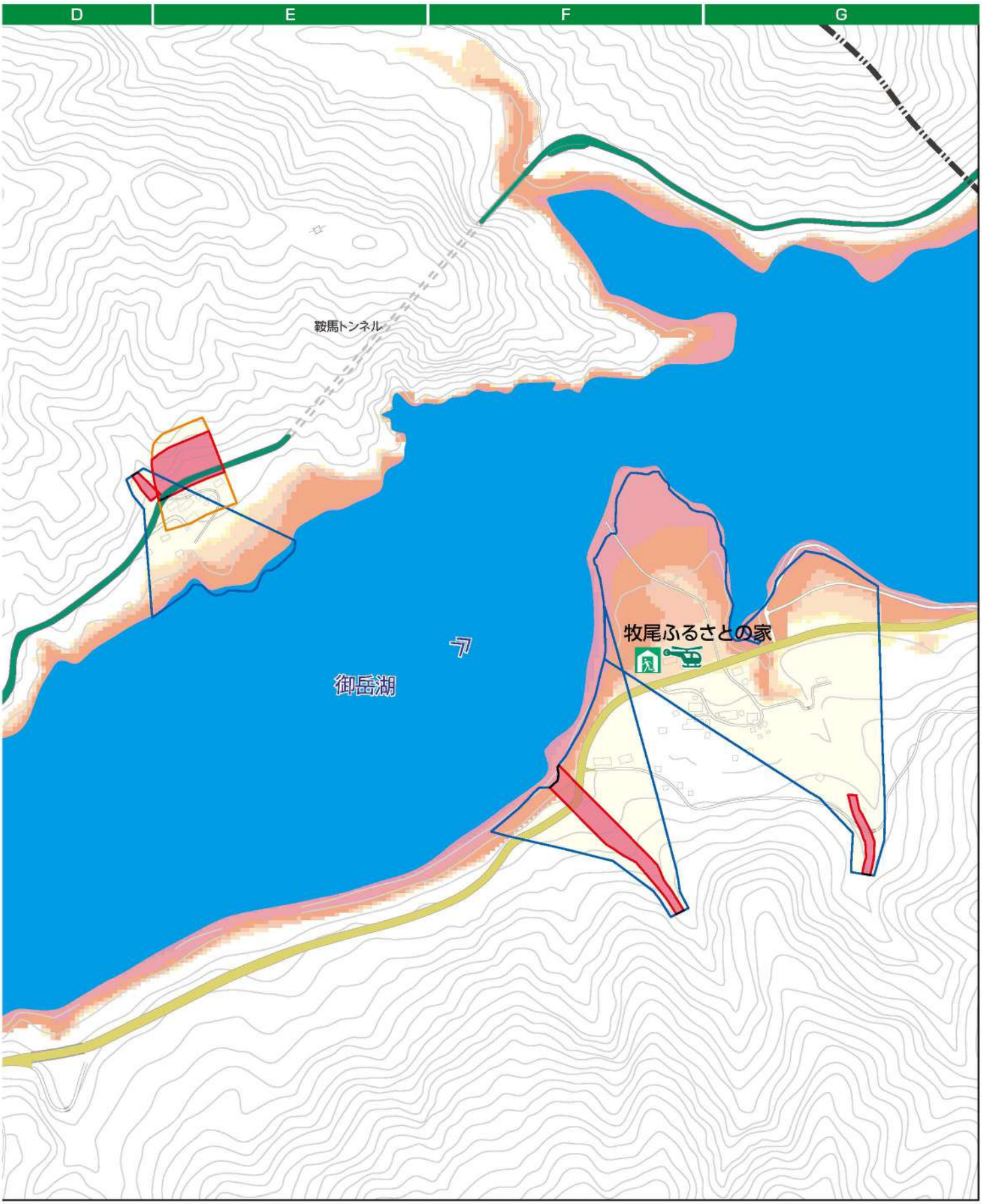
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

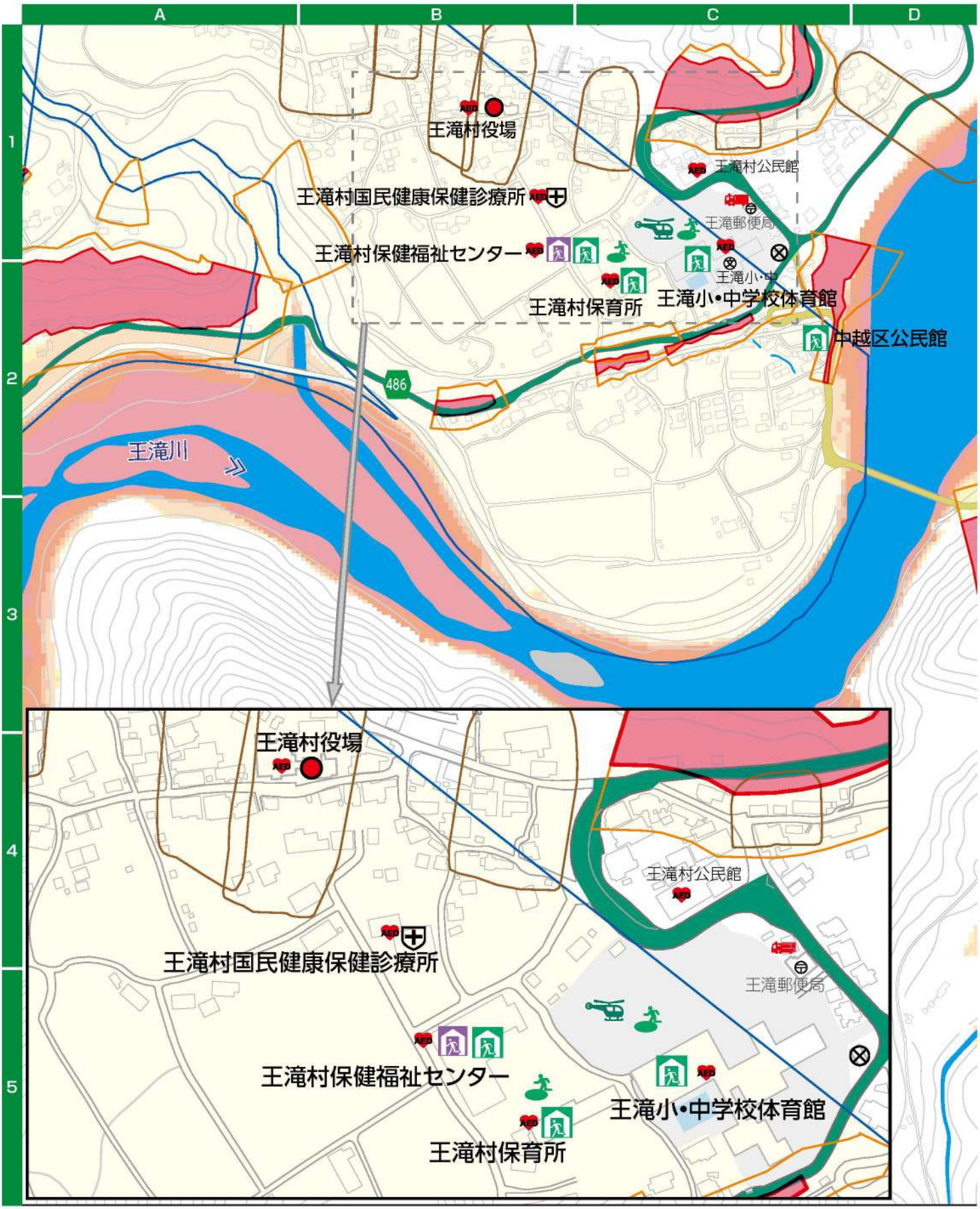


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 4

中越地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- ヘリポート
- 河川カメラ
- 水位計
- AED設置箇所
- 役場
- 駐在所
- 消防団
- 郵便局
- 診療所
- 主要地方道・県道
- 主要村道
- 市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

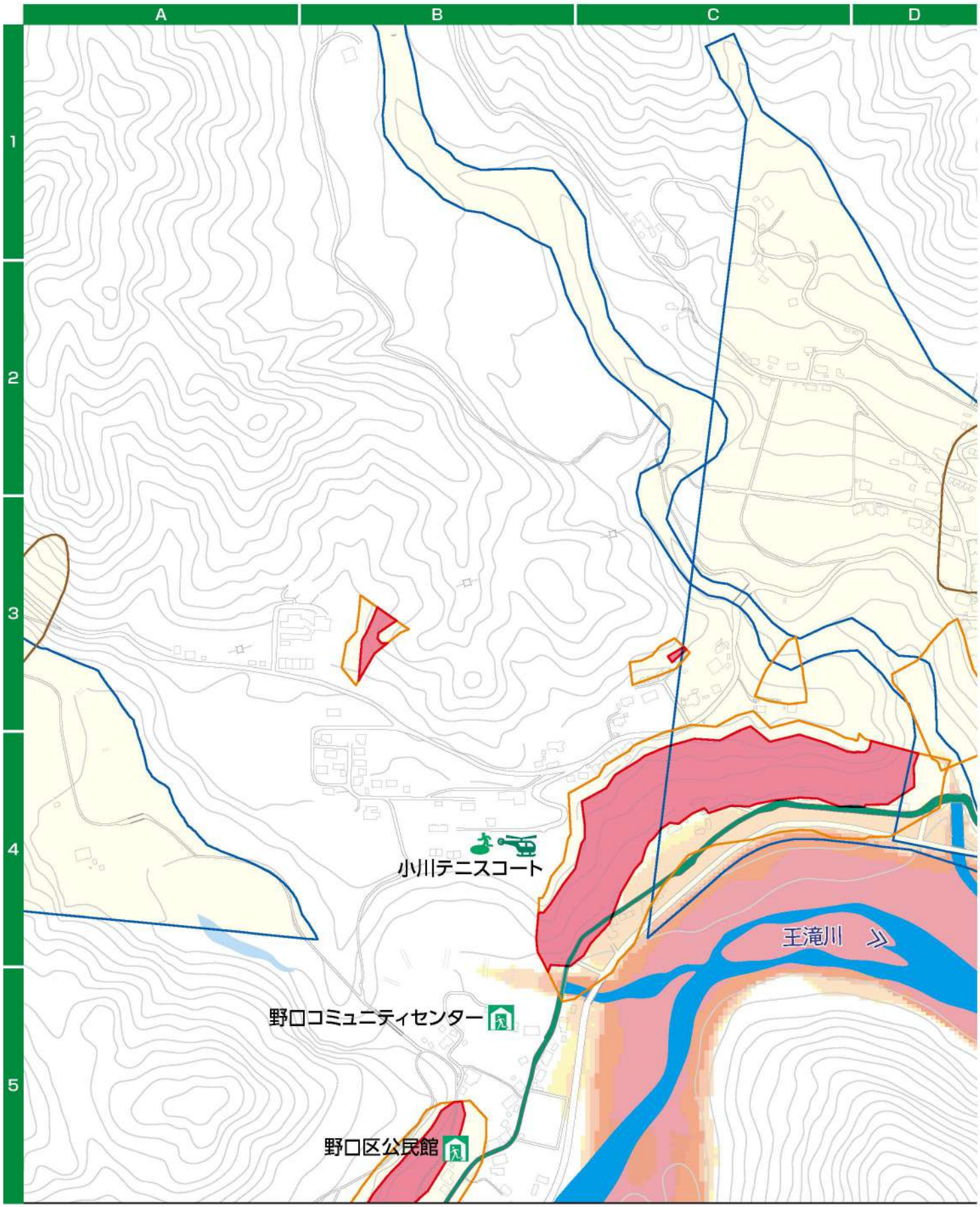
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

災害（洪水・土砂）ハザードマップ 5

中越・東・下条・上条・野口地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号		
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模	
浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

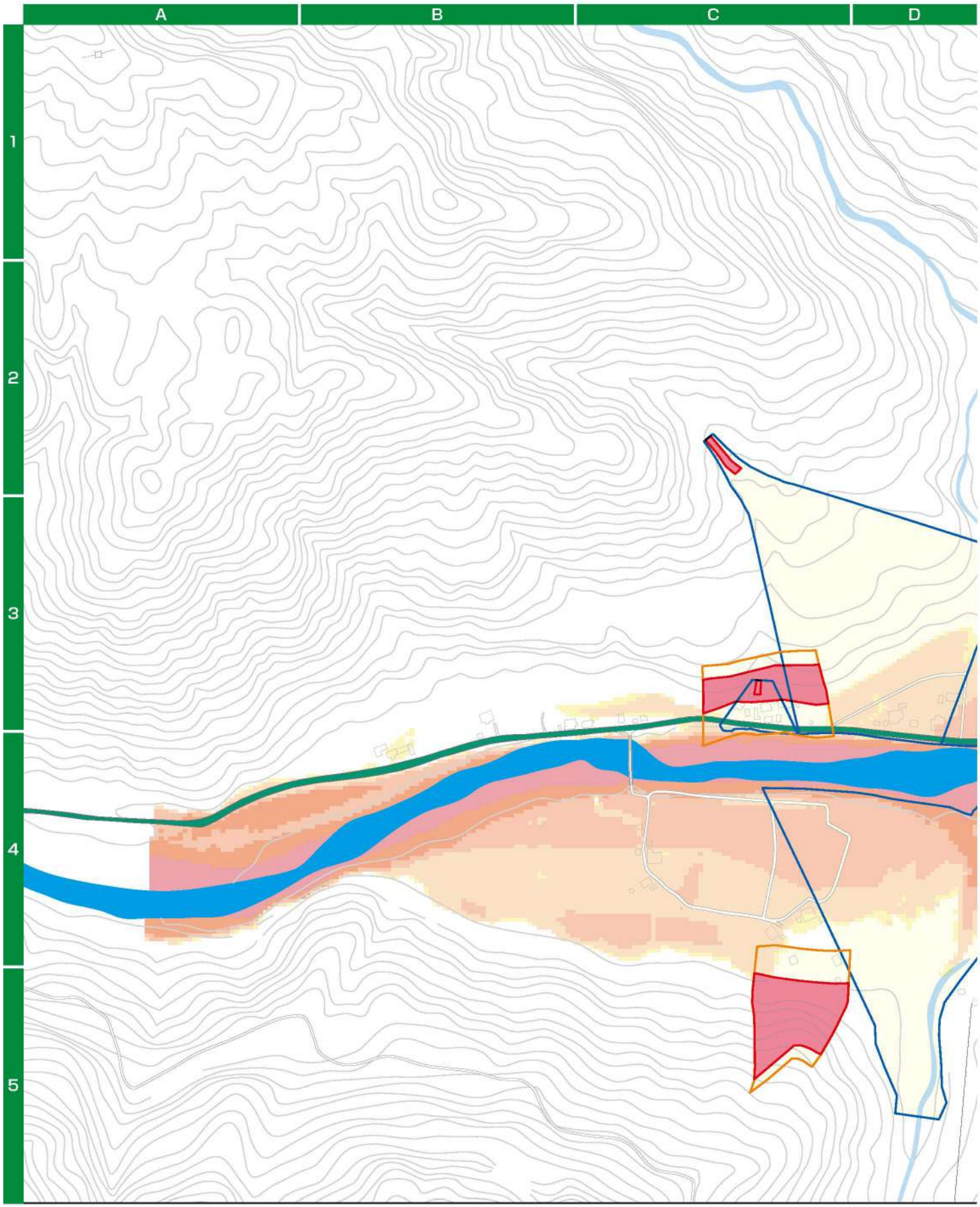
土砂災害　凡例
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域（土石流）
土砂災害警戒区域（急傾斜）
土砂災害警戒区域（地すべり）

災害（洪水・土砂）ハザードマップ 6

野口地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

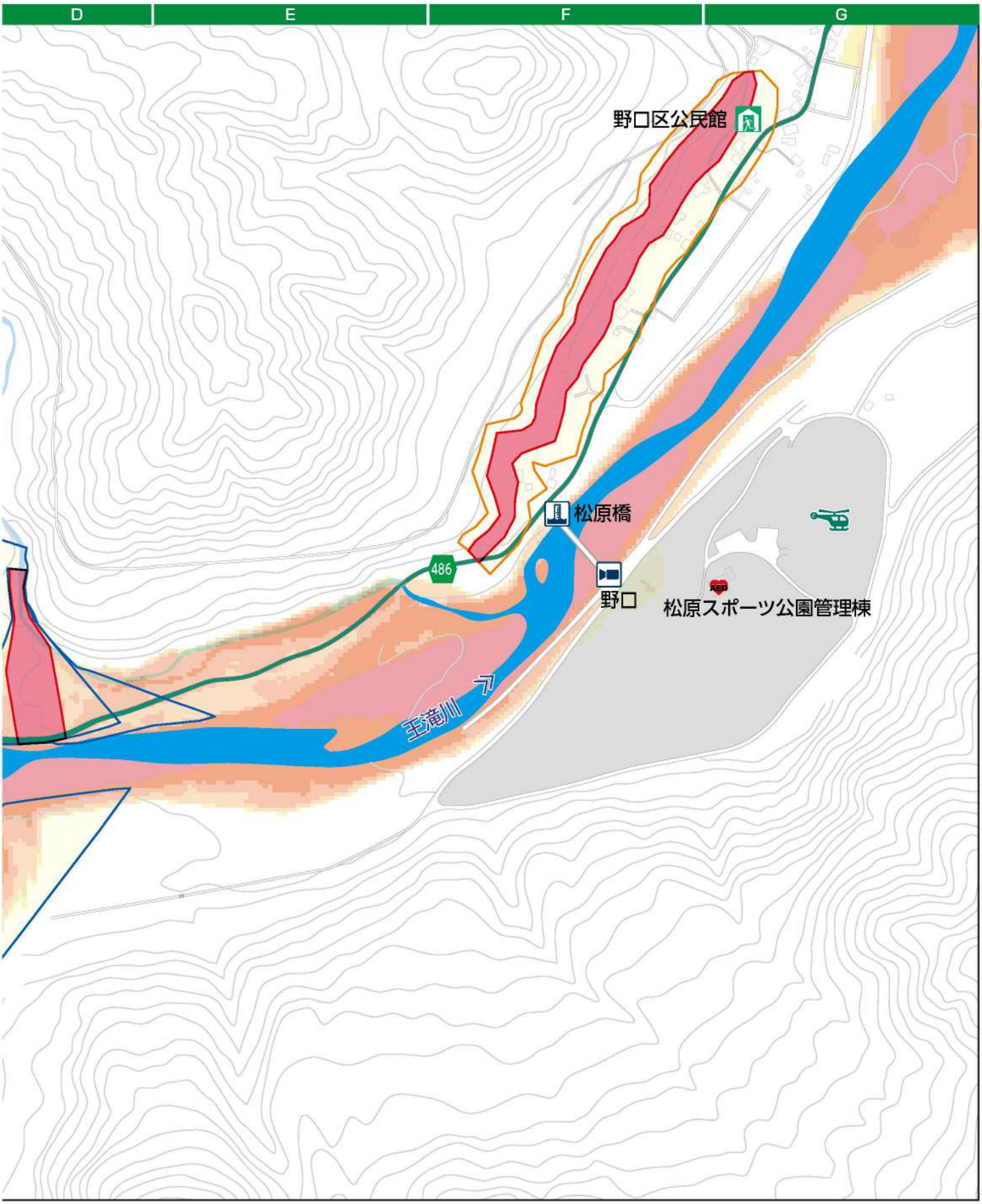
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

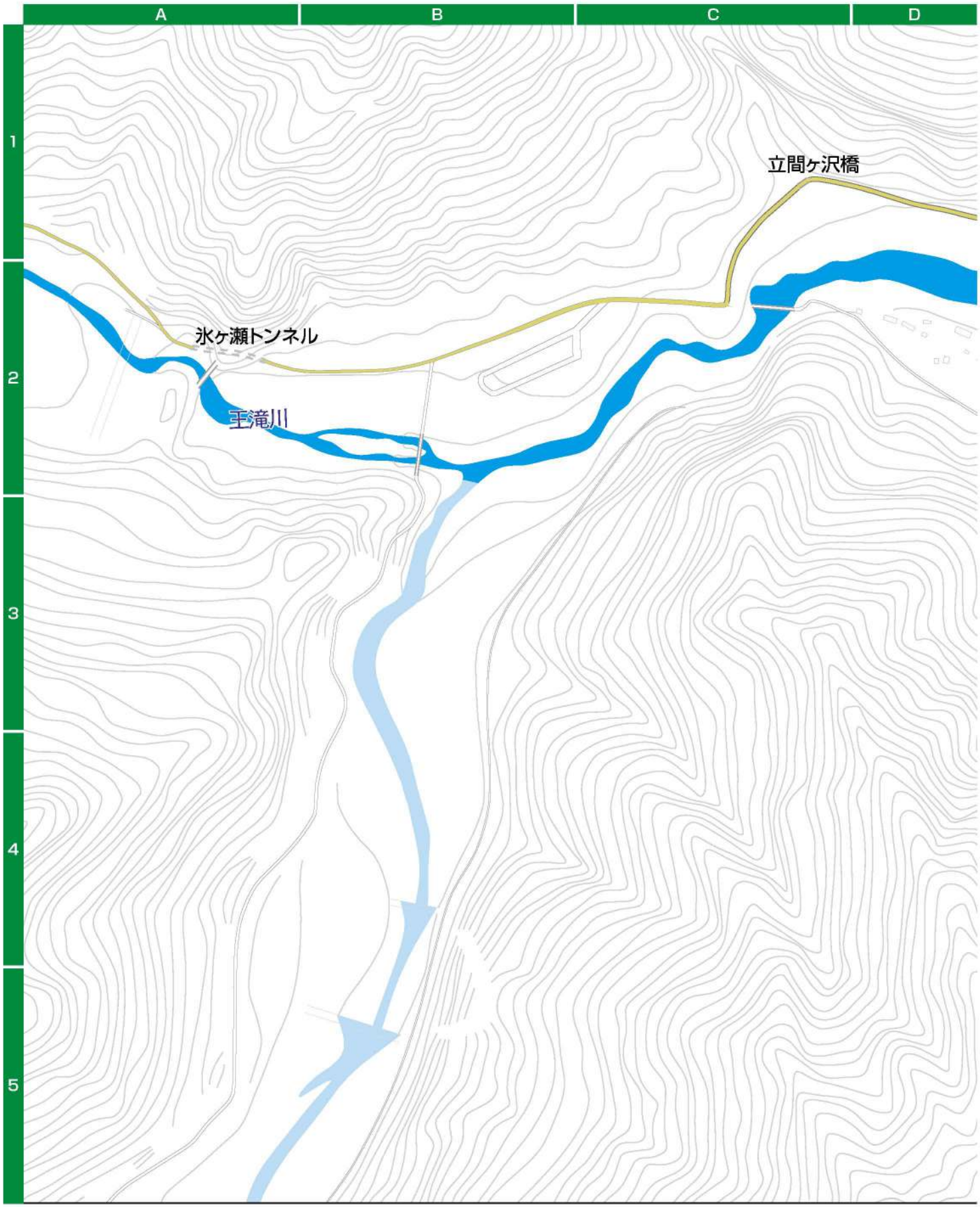


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 7

氷ヶ瀬地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

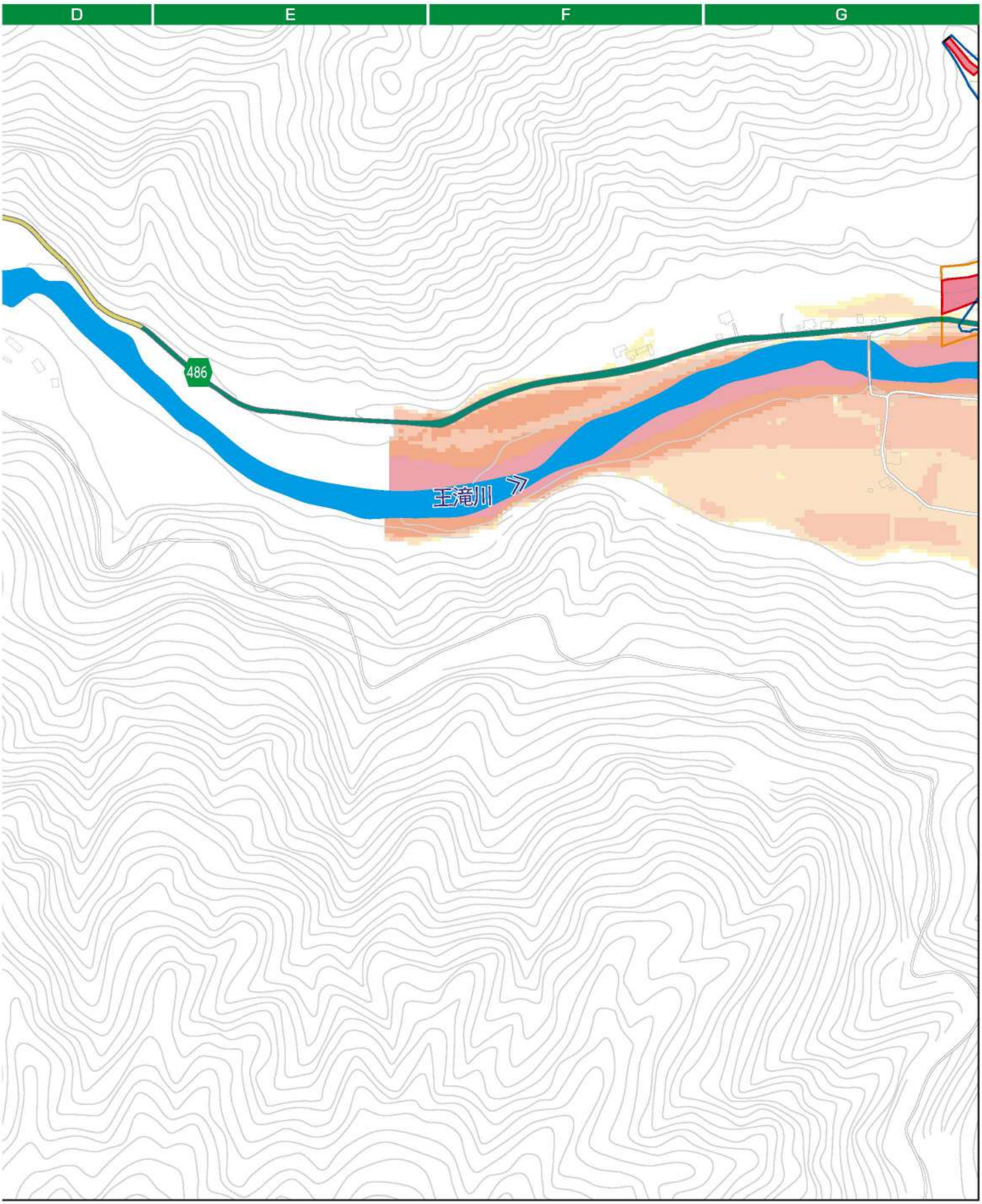
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- ヘリポート
- 河川カメラ
- 水位計
- AED設置箇所
- 役場
- 駐在所
- 消防団
- 郵便局
- 診療所
- 主要地方道・県道
- 主要村道
- 市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）



災害（洪水・土砂）ハザードマップ 8

東・上条地区

縮尺：1/6,000

180m

凡例　地図記号

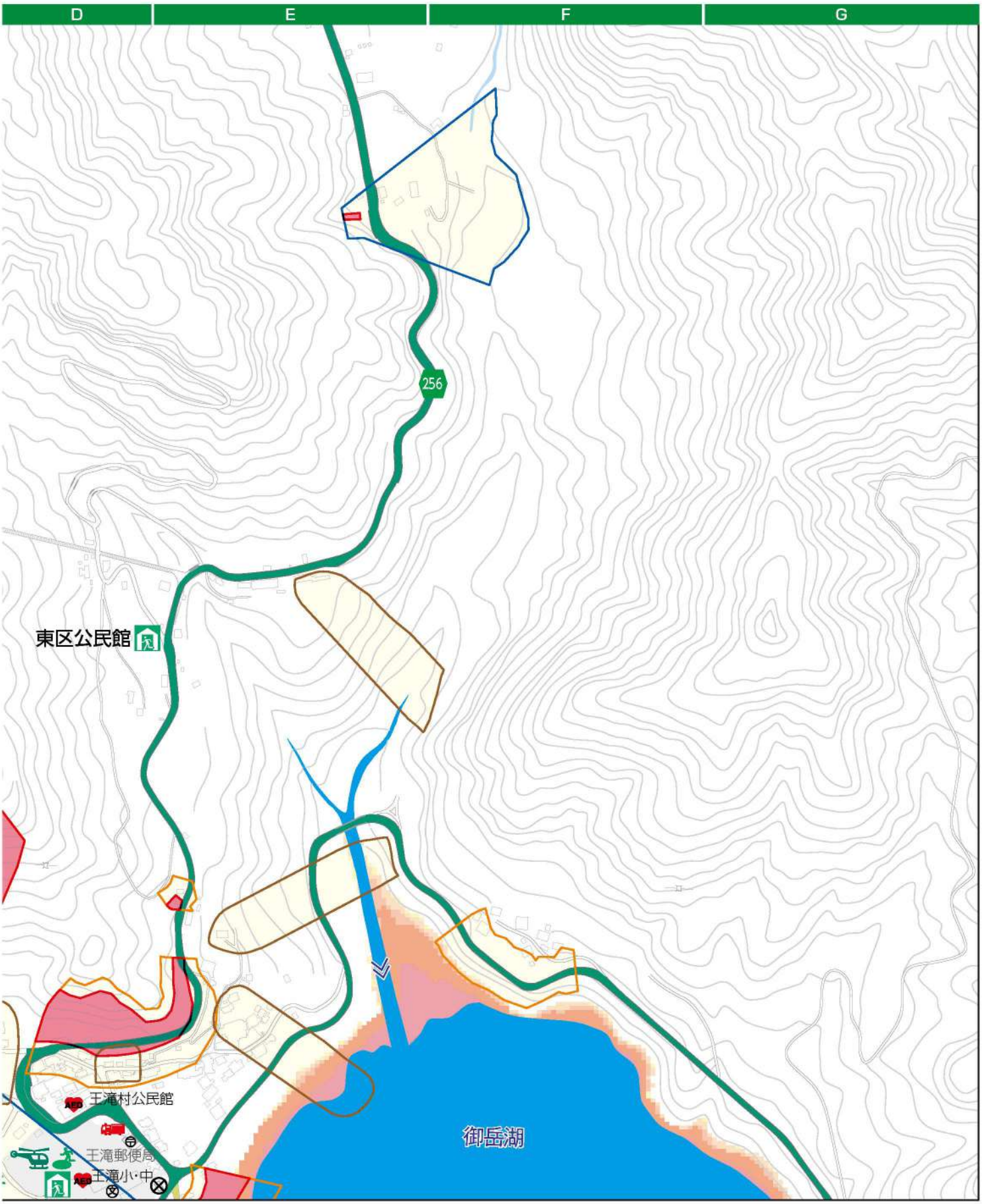
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

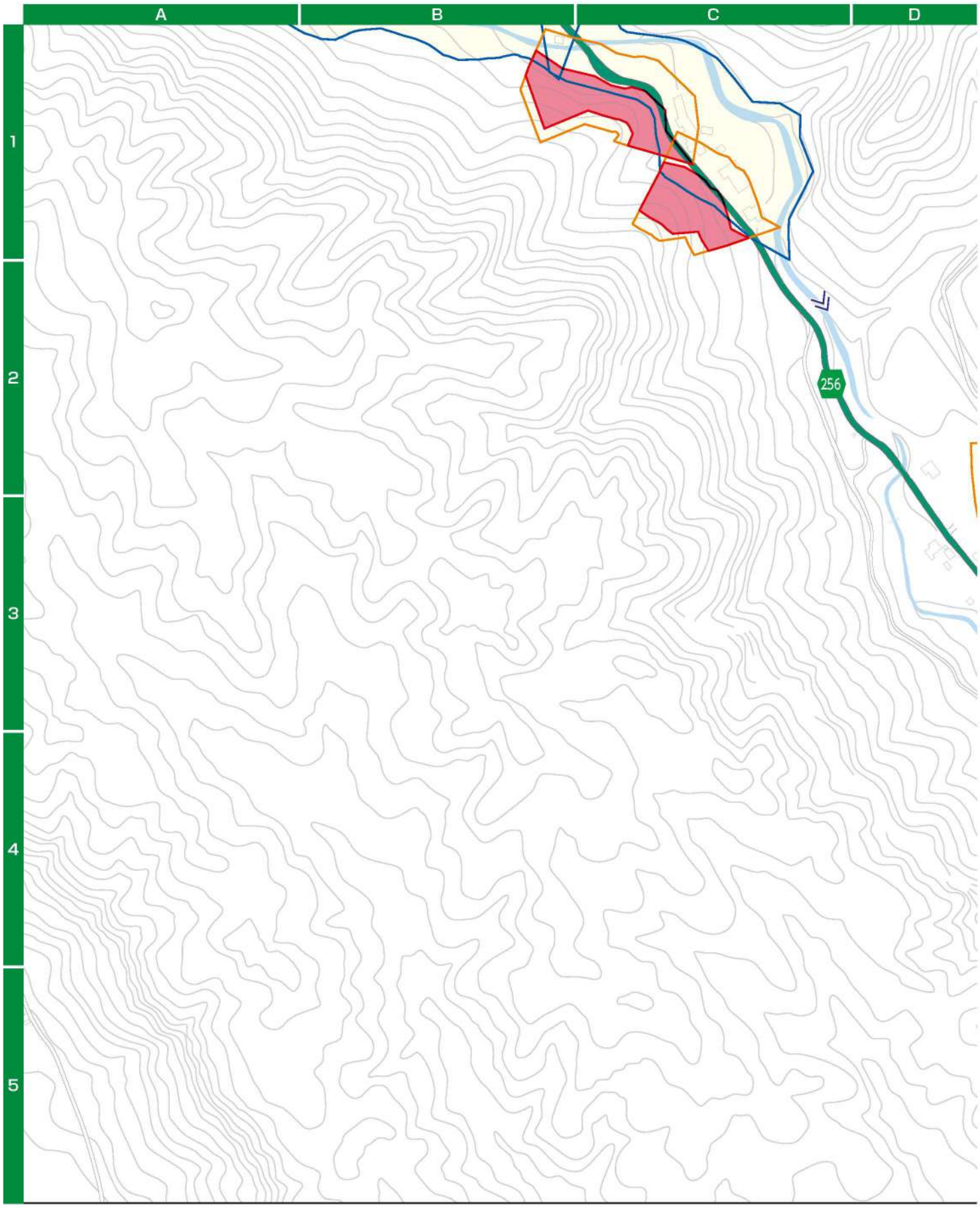


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 9

東地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

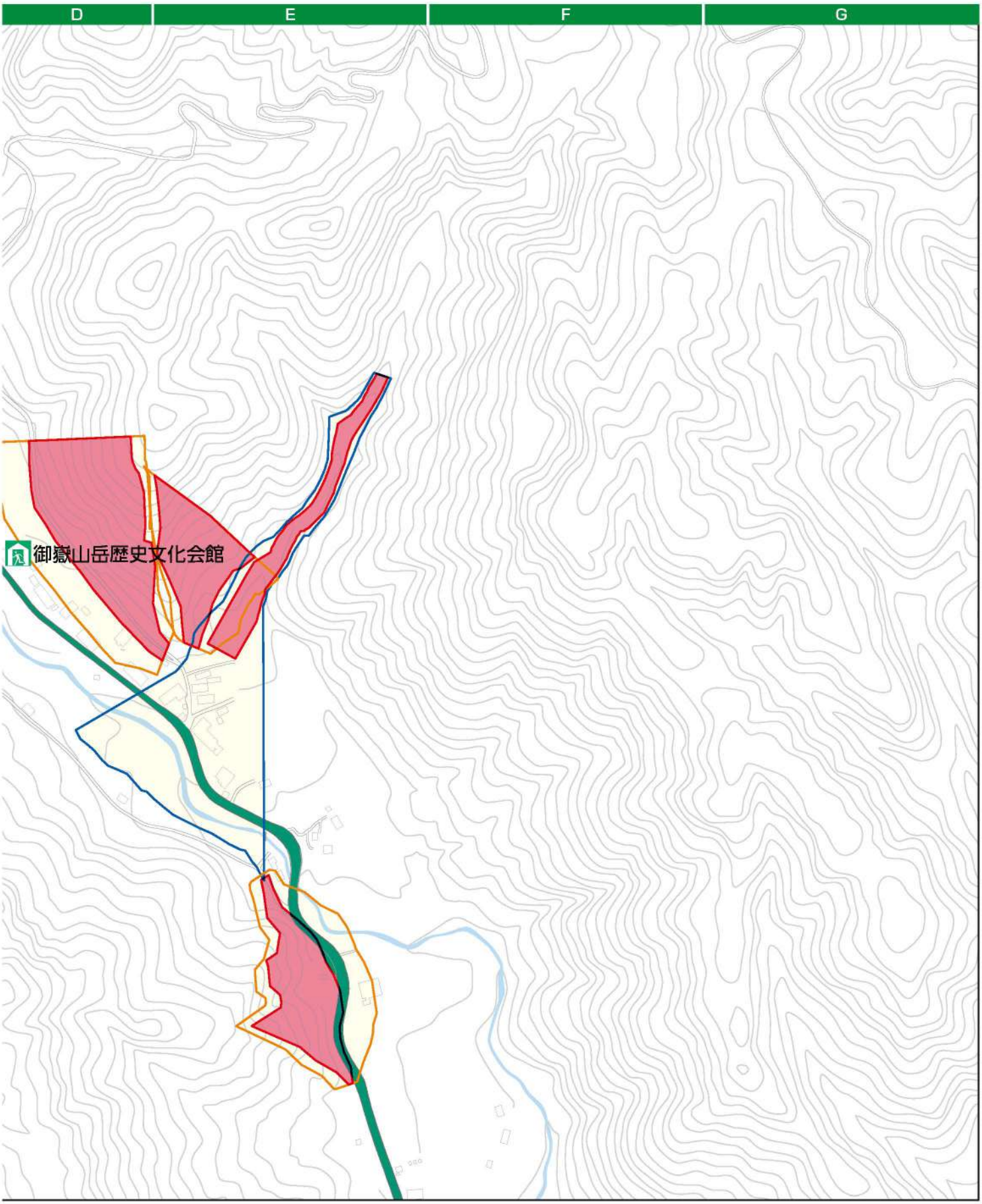
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

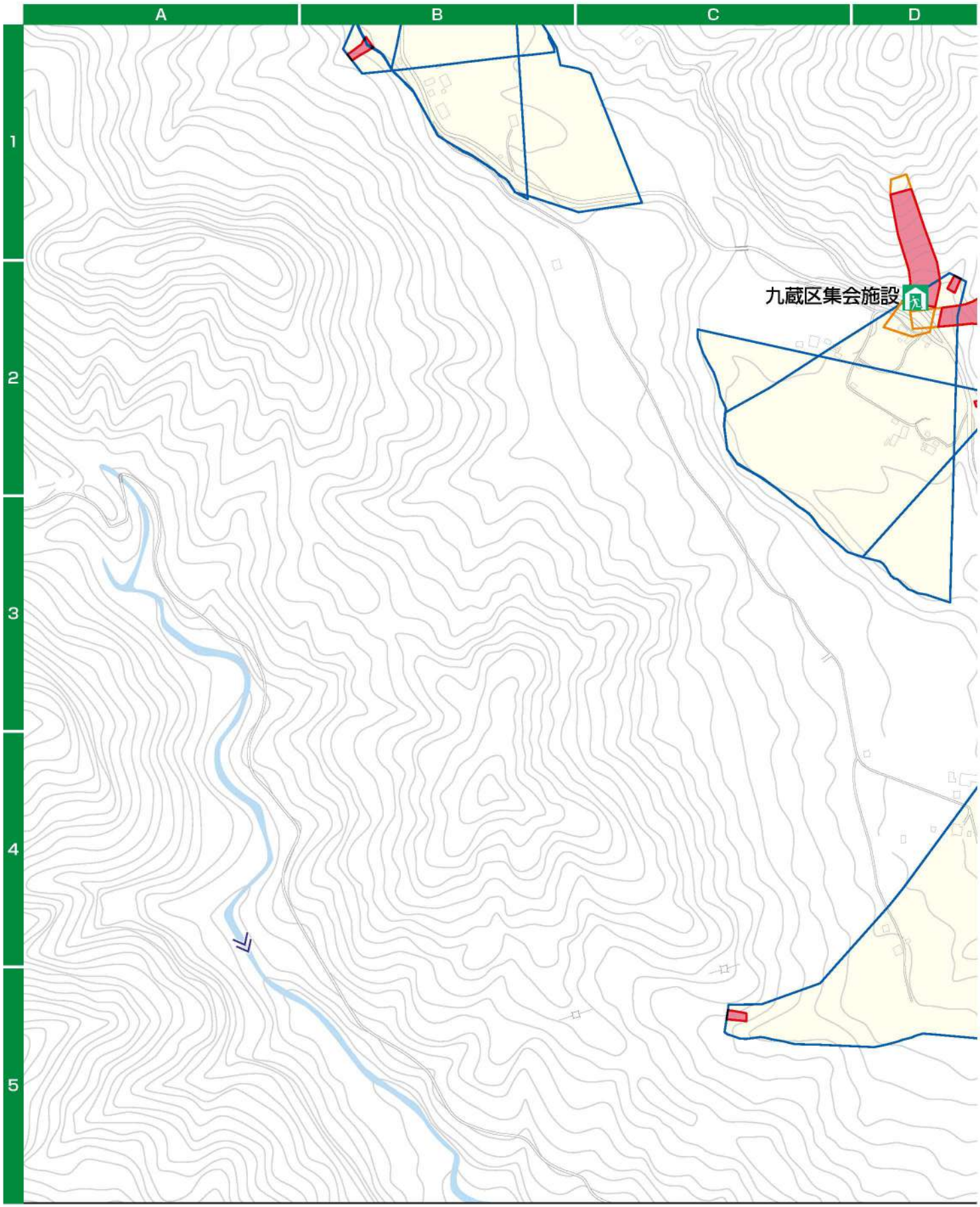


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 10

九蔵地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

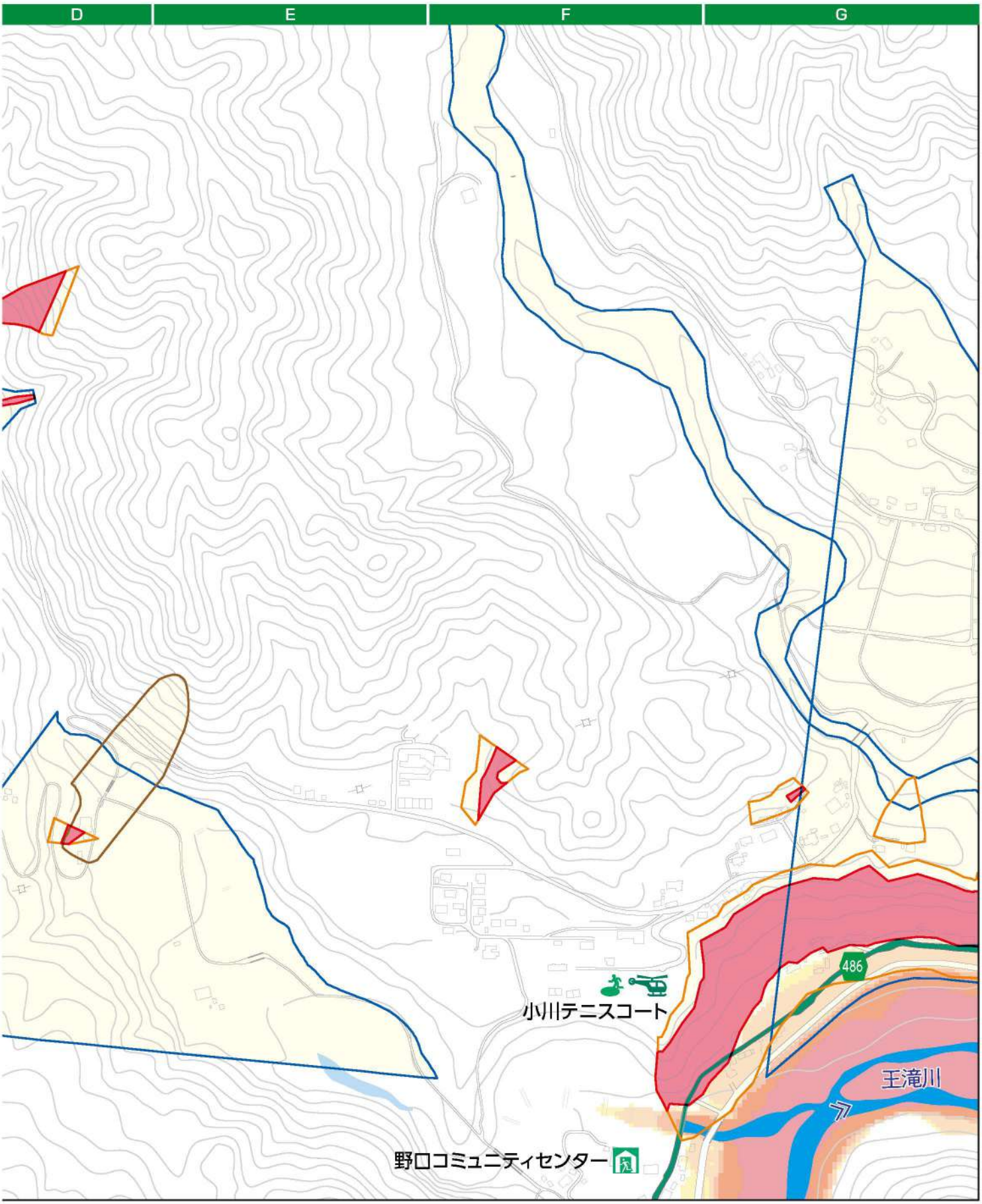
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

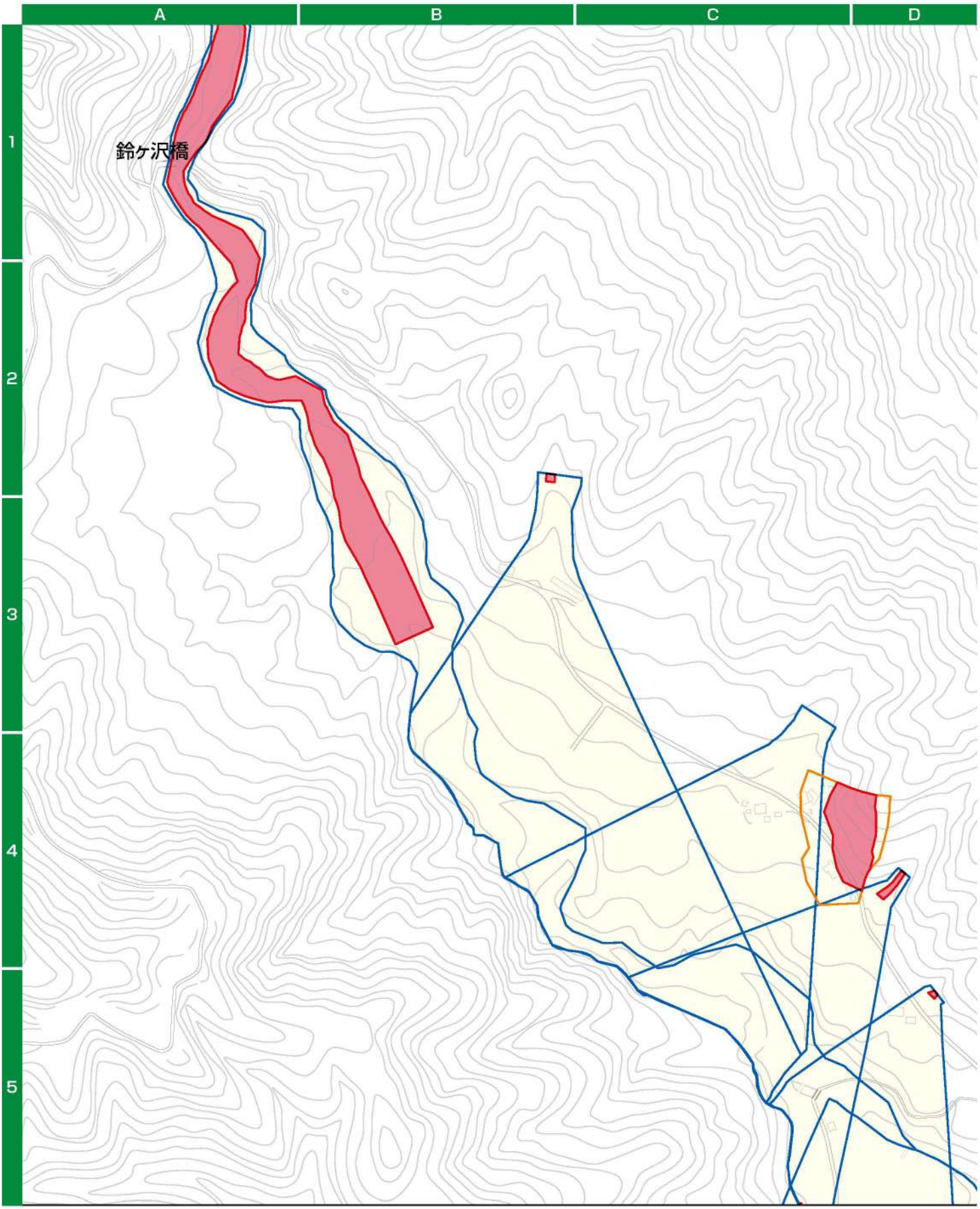


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 11

九蔵地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

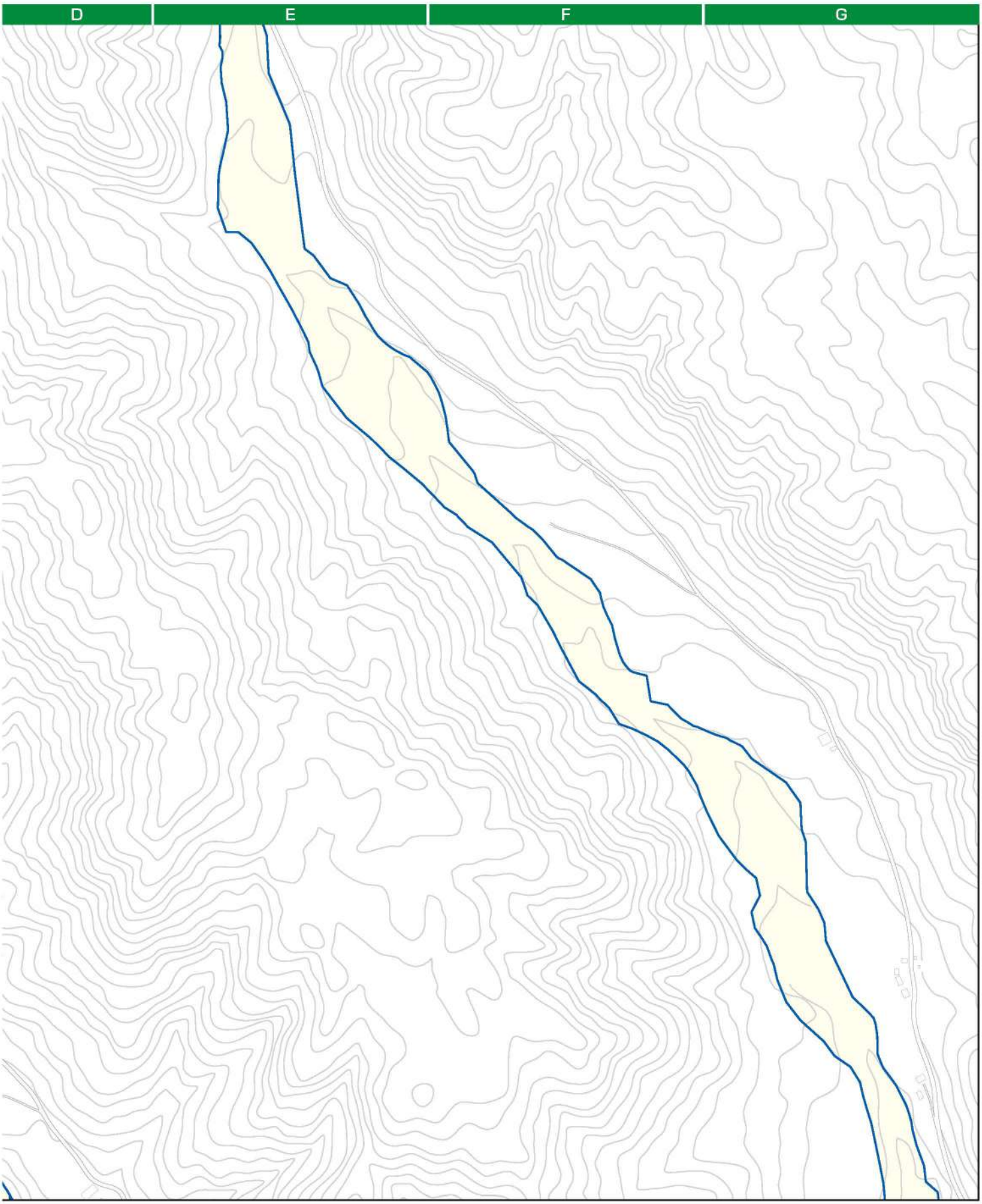
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- ヘリポート
- 河川カメラ
- 水位計
- AED設置箇所
- 役場
- 駐在所
- 消防団
- 郵便局
- 診療所
- 主要地方道・県道
- 主要村道
- 市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

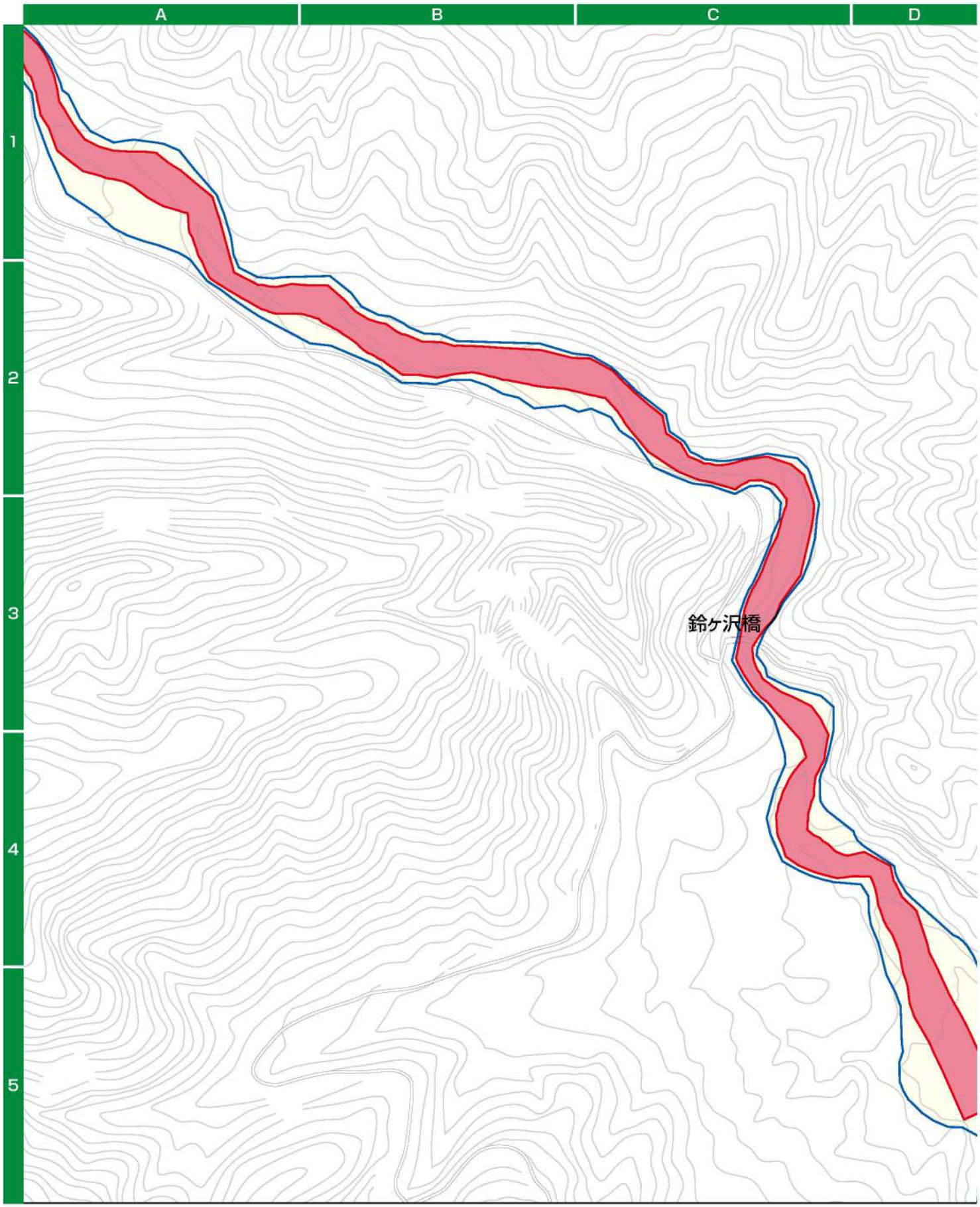


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 12

九蔵地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

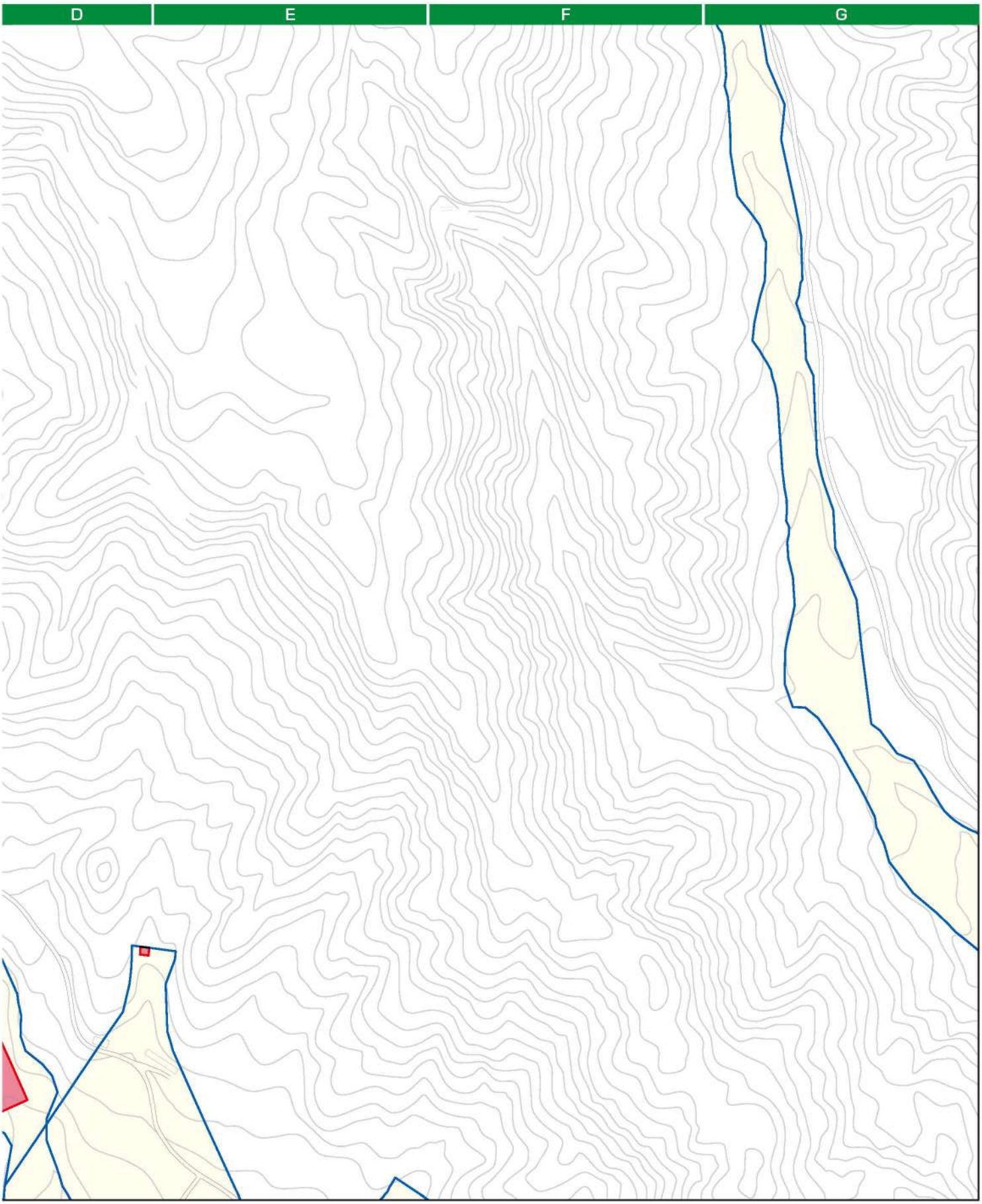
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- ヘリポート
- 河川カメラ
- 水位計
- AED設置箇所
- 役場
- 駐在所
- 消防団
- 郵便局
- 診療所
- 主要地方道・県道
- 主要村道
- 市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

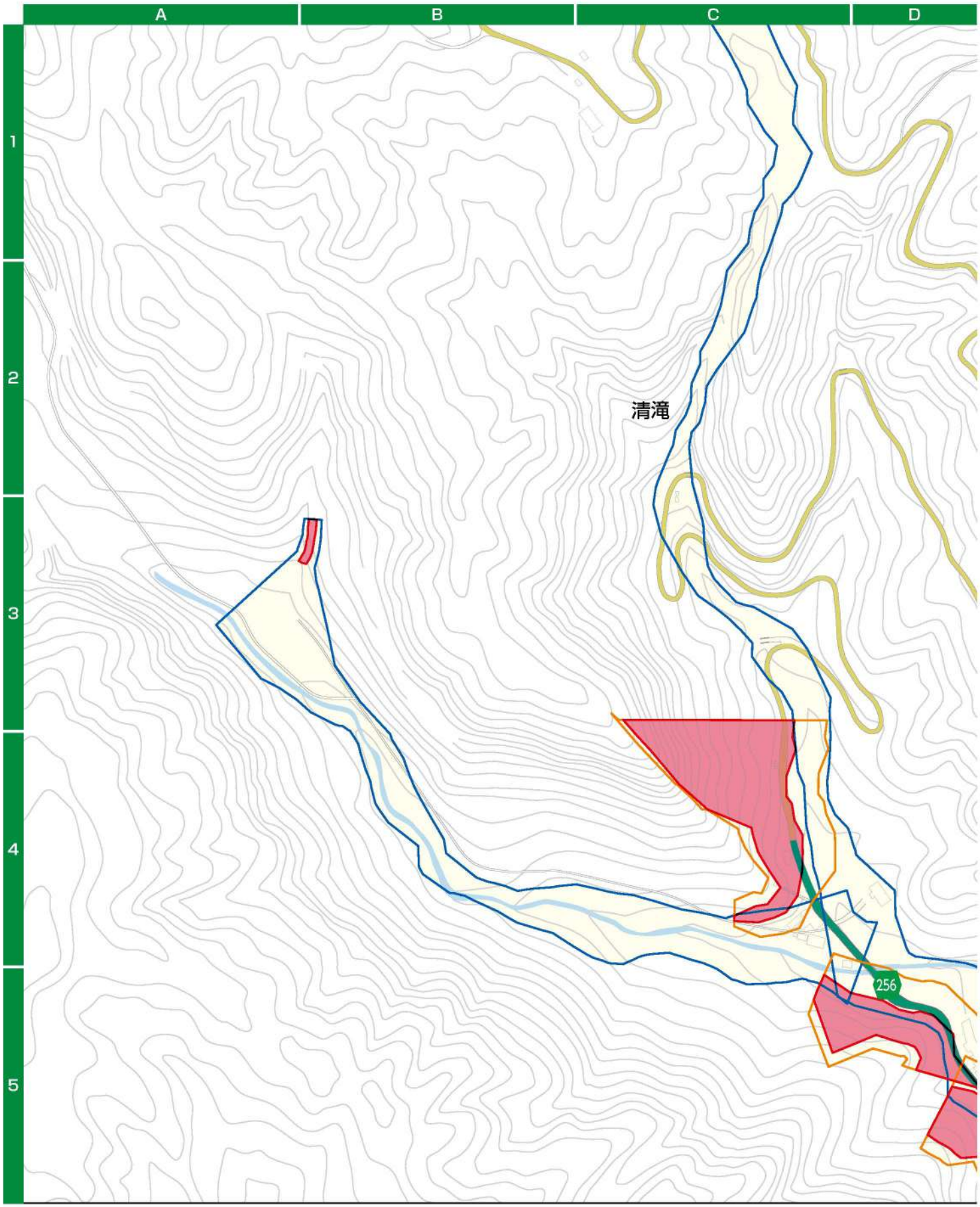


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 13

東・りんどう平地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

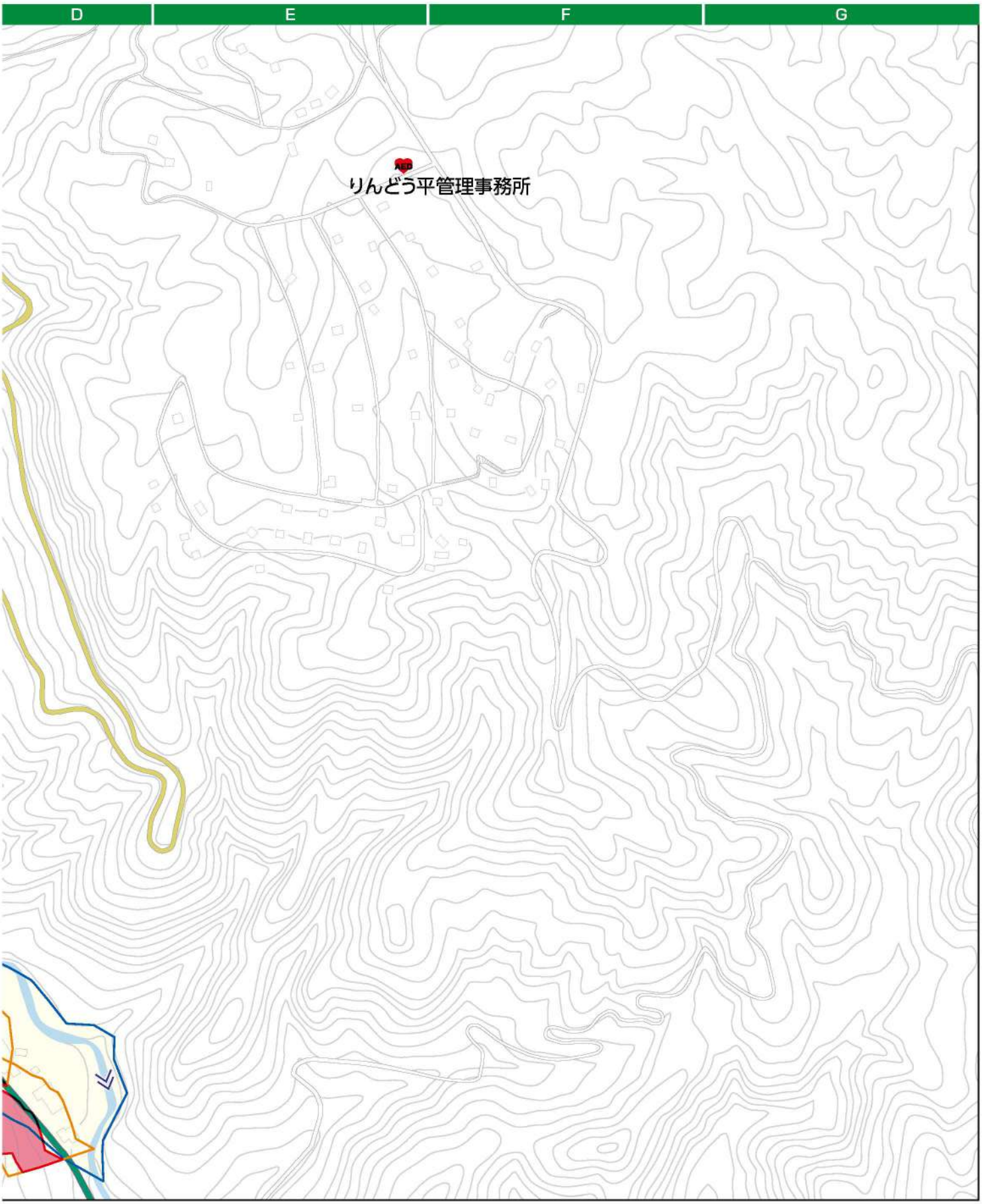
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

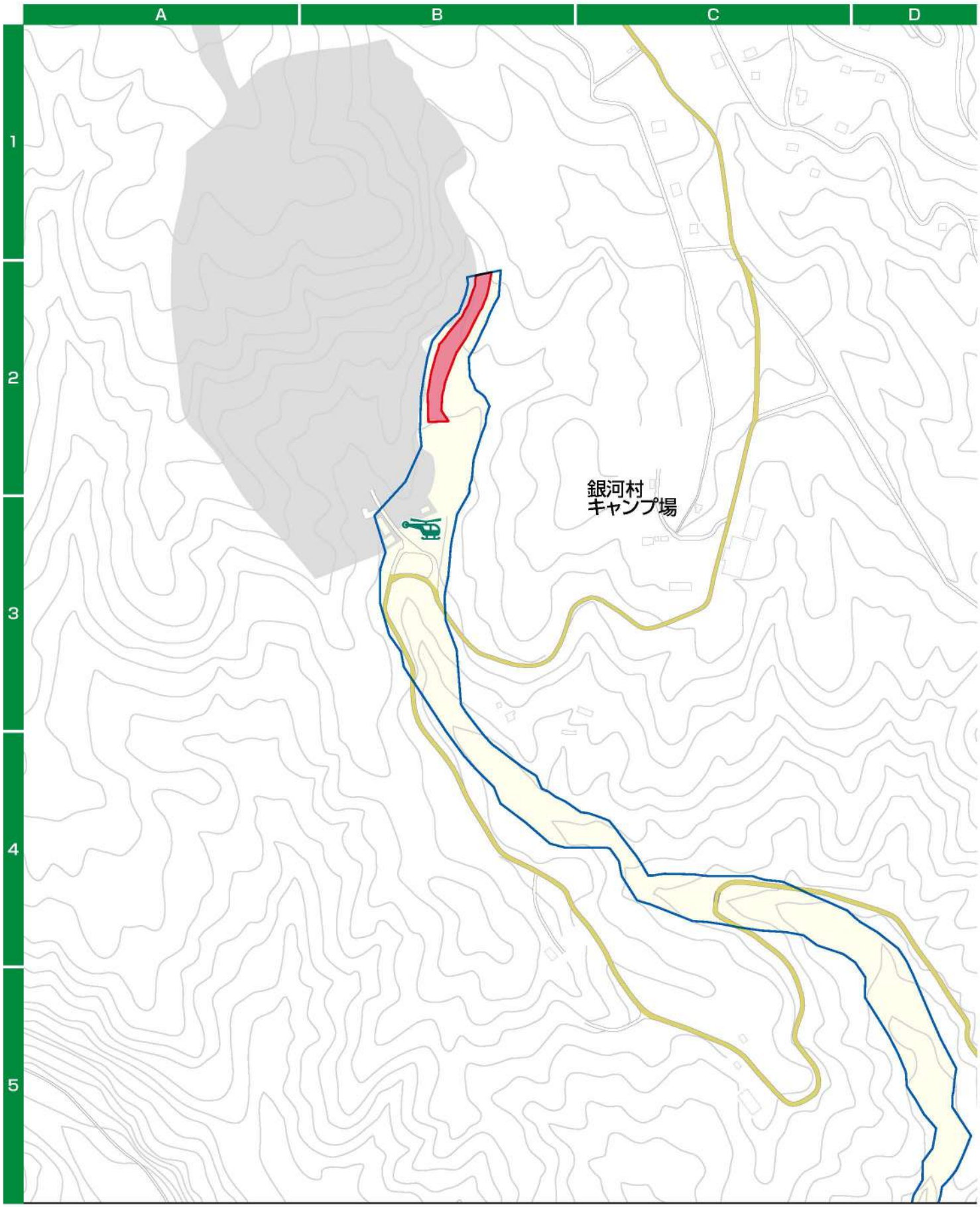


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 14

高原地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

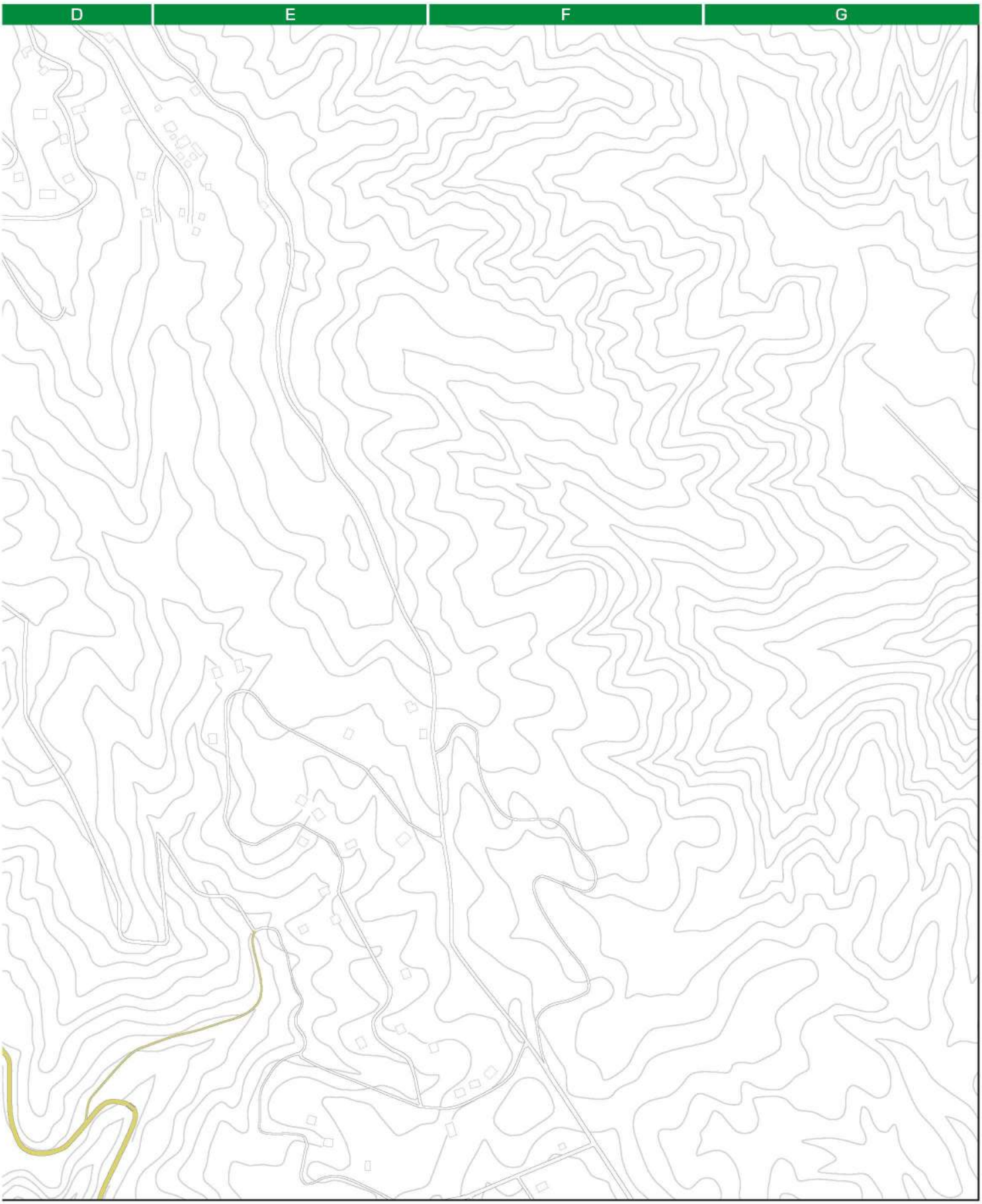
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- ヘリポート
- 河川カメラ
- 水位計
- AED設置箇所
- 役場
- 駐在所
- 消防団
- 郵便局
- 診療所
- 主要地方道・県道
- 主要村道
- 市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

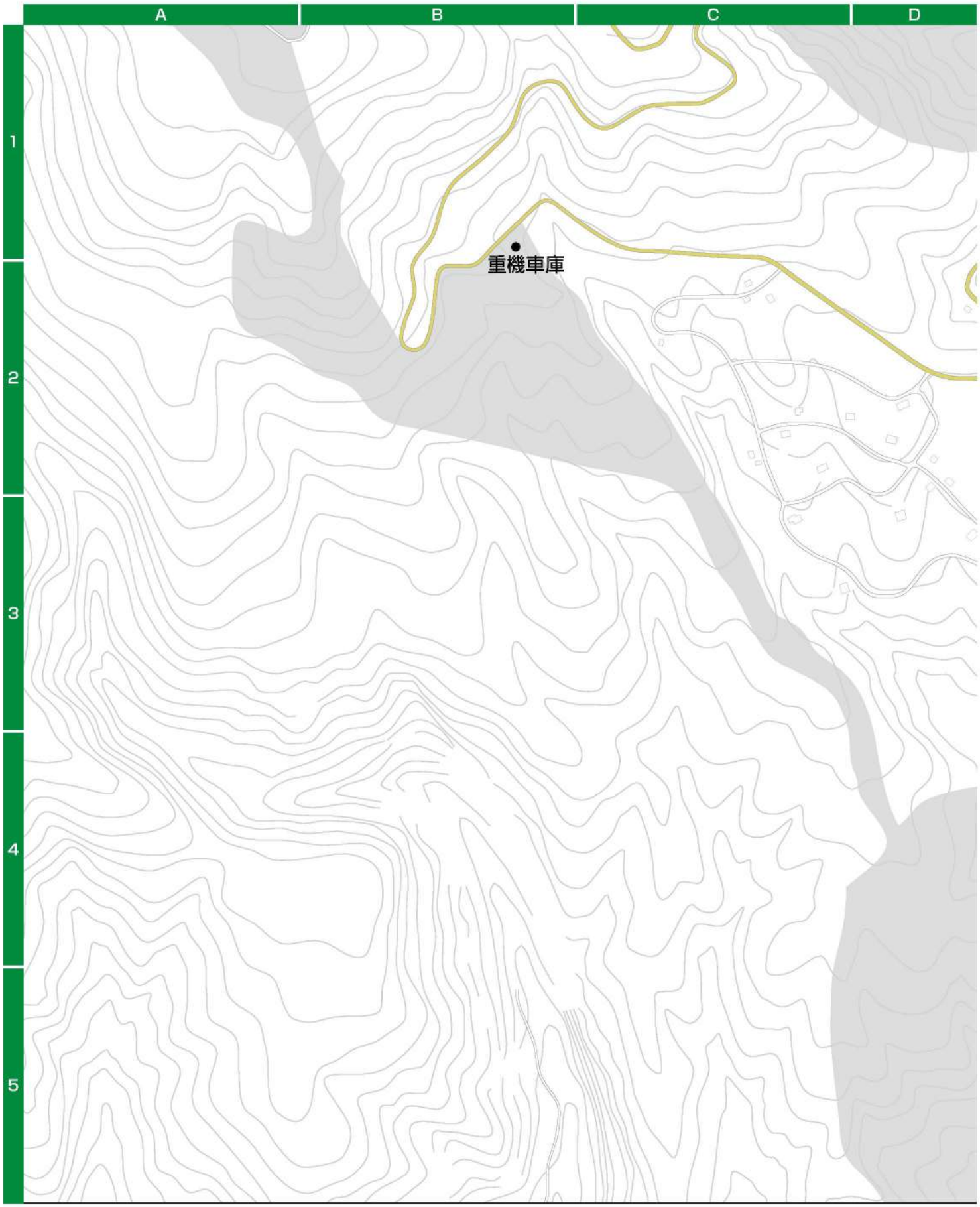


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 15

高原地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

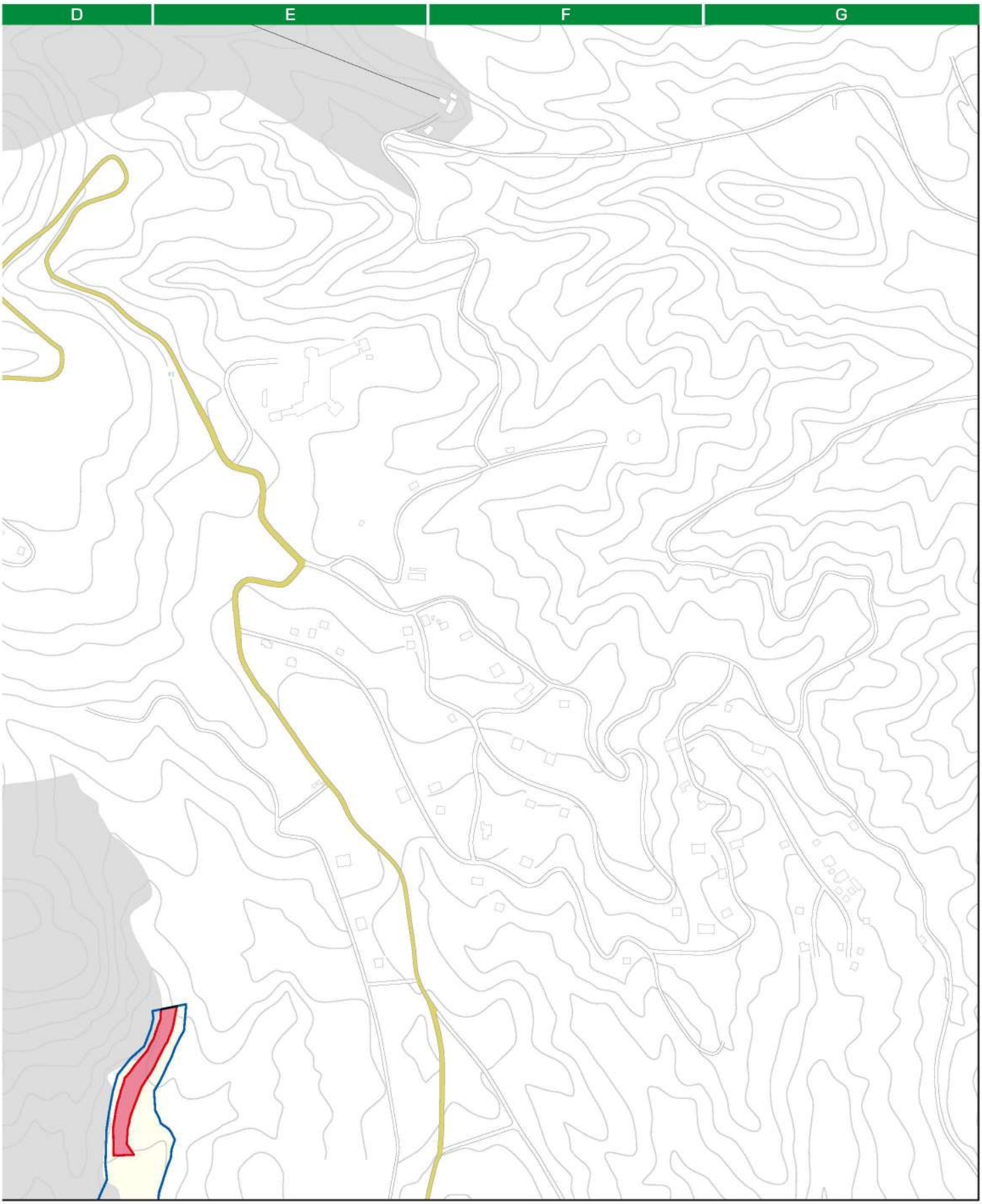
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

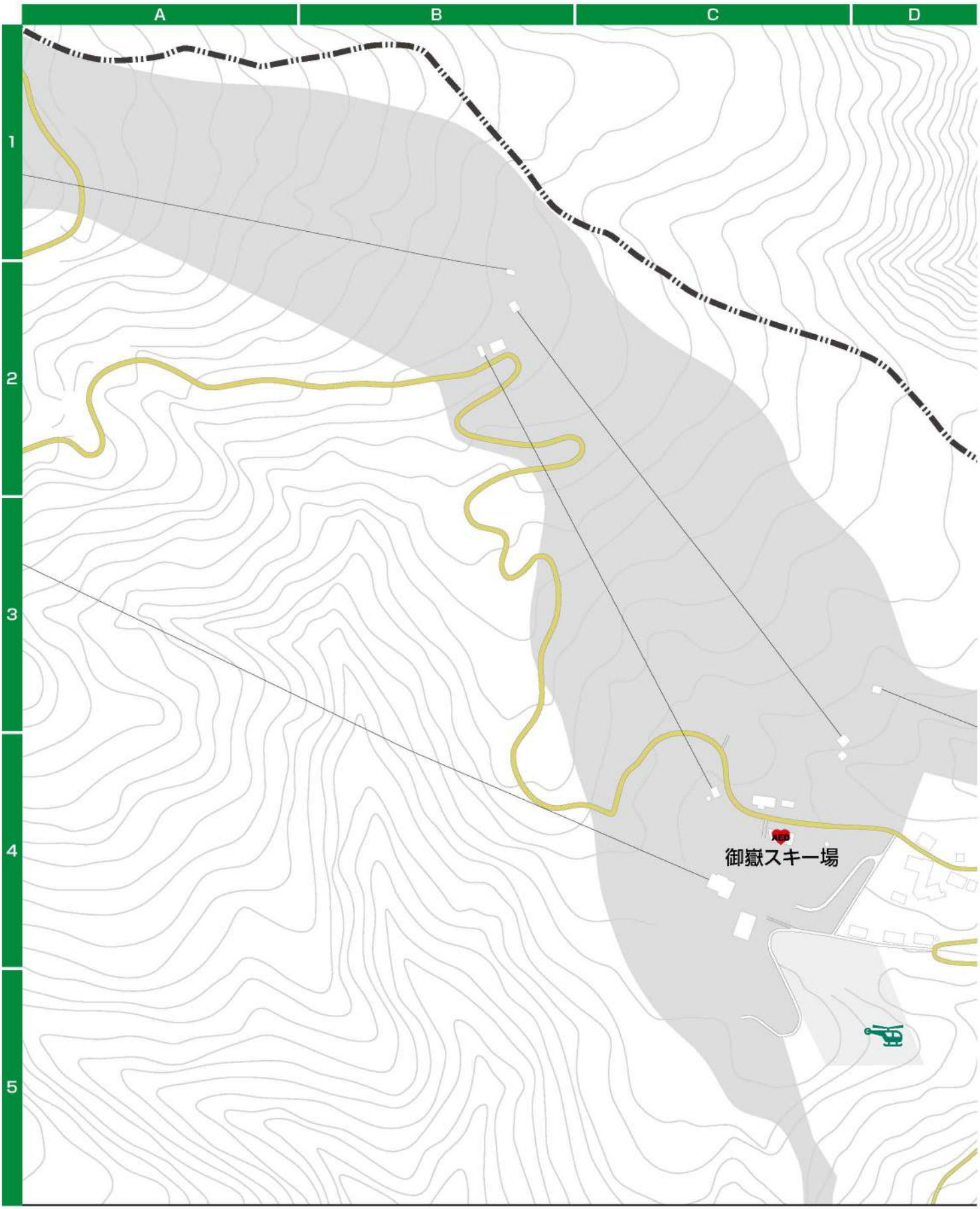


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 16

八海山地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

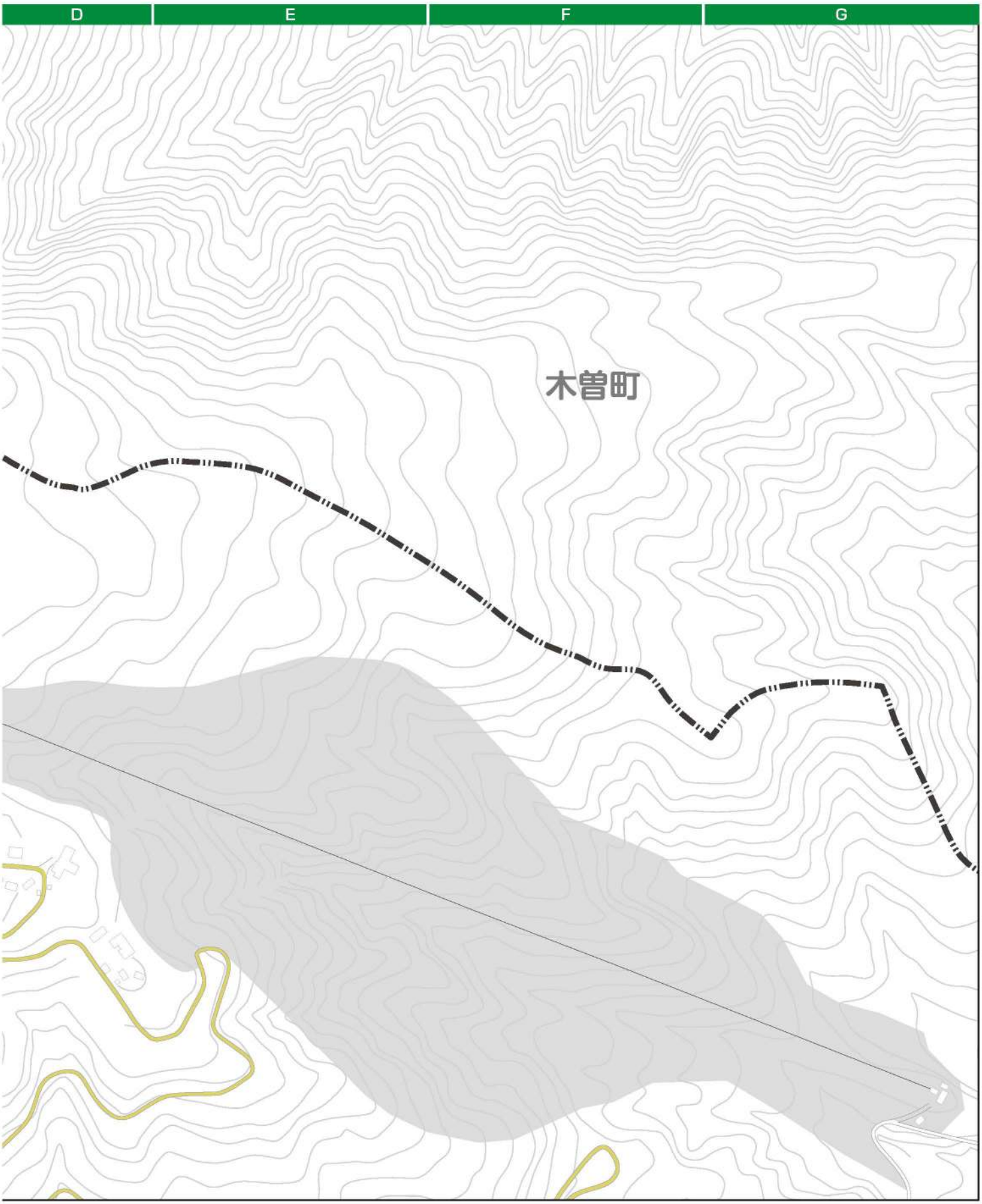
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模

浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

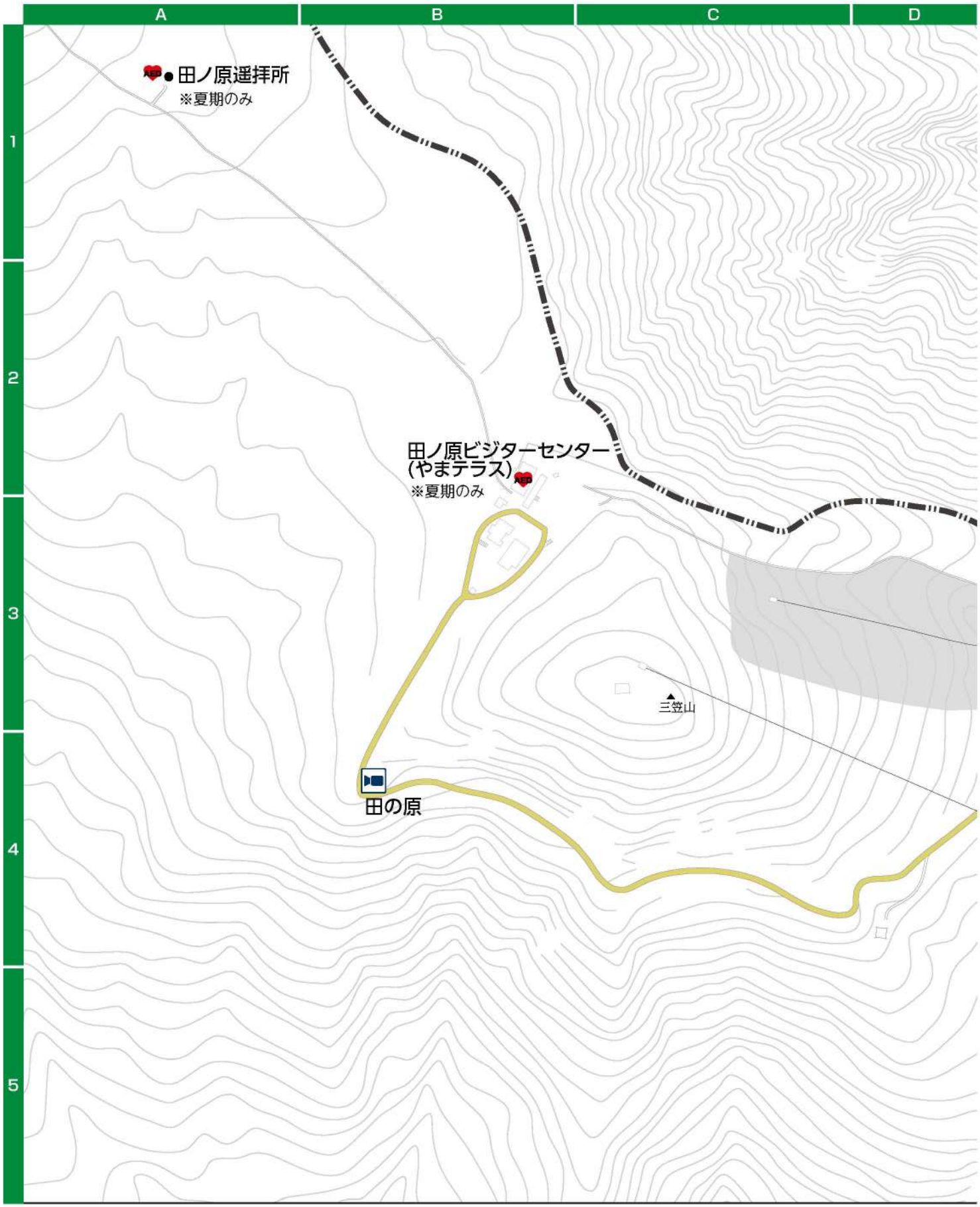


災害（洪水・土砂）ハザードマップ 17

田ノ原地区

縮尺：1/6,000

180m



凡例　地図記号

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- ヘリポート
- 河川カメラ
- 水位計
- AED設置箇所
- 役場
- 駐在所
- 消防団
- 郵便局
- 診療所
- 主要地方道・県道
- 主要村道
- 市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模	
浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例

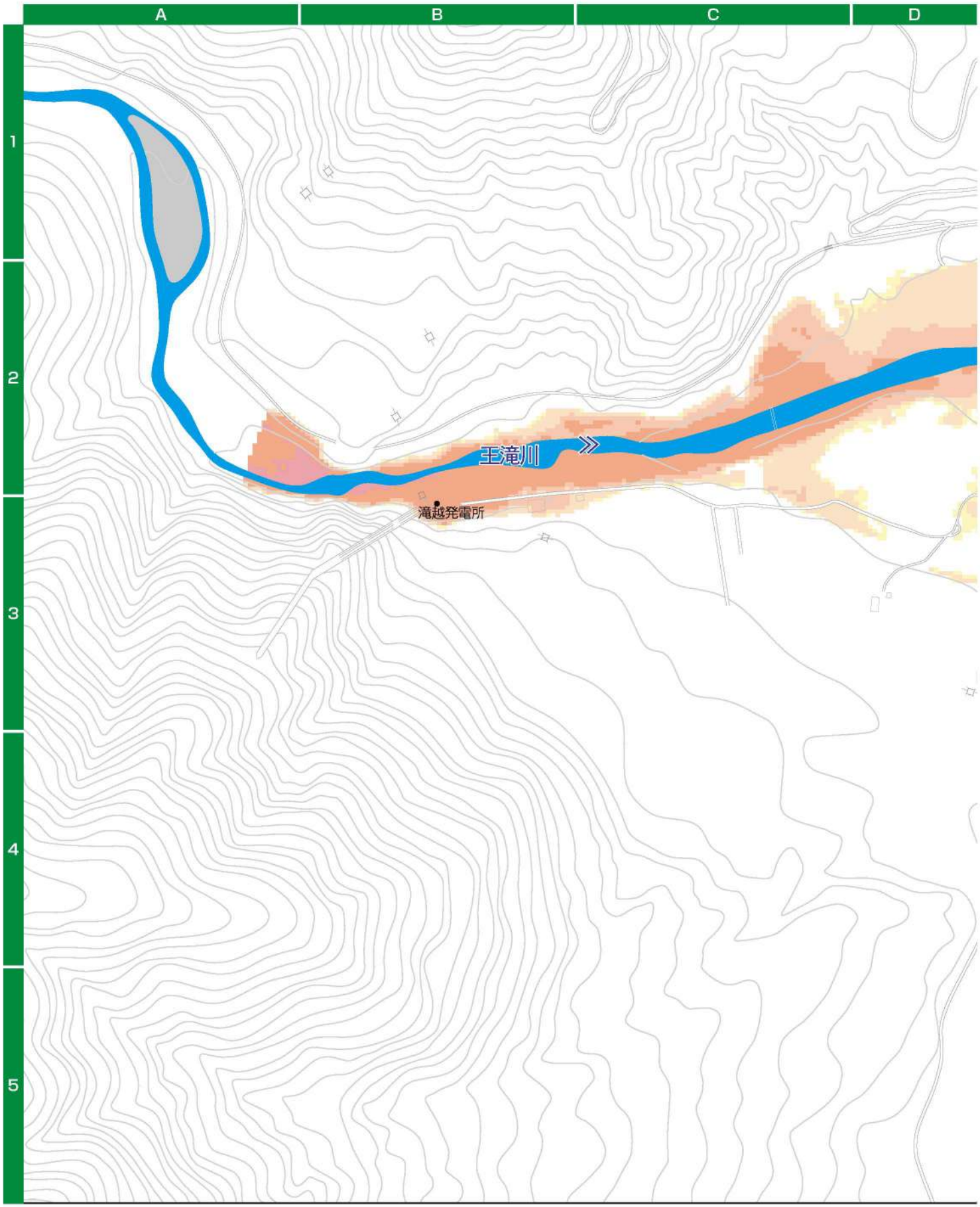
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

災害（洪水・土砂）ハザードマップ 18

滝越地区

縮尺：1/6,000

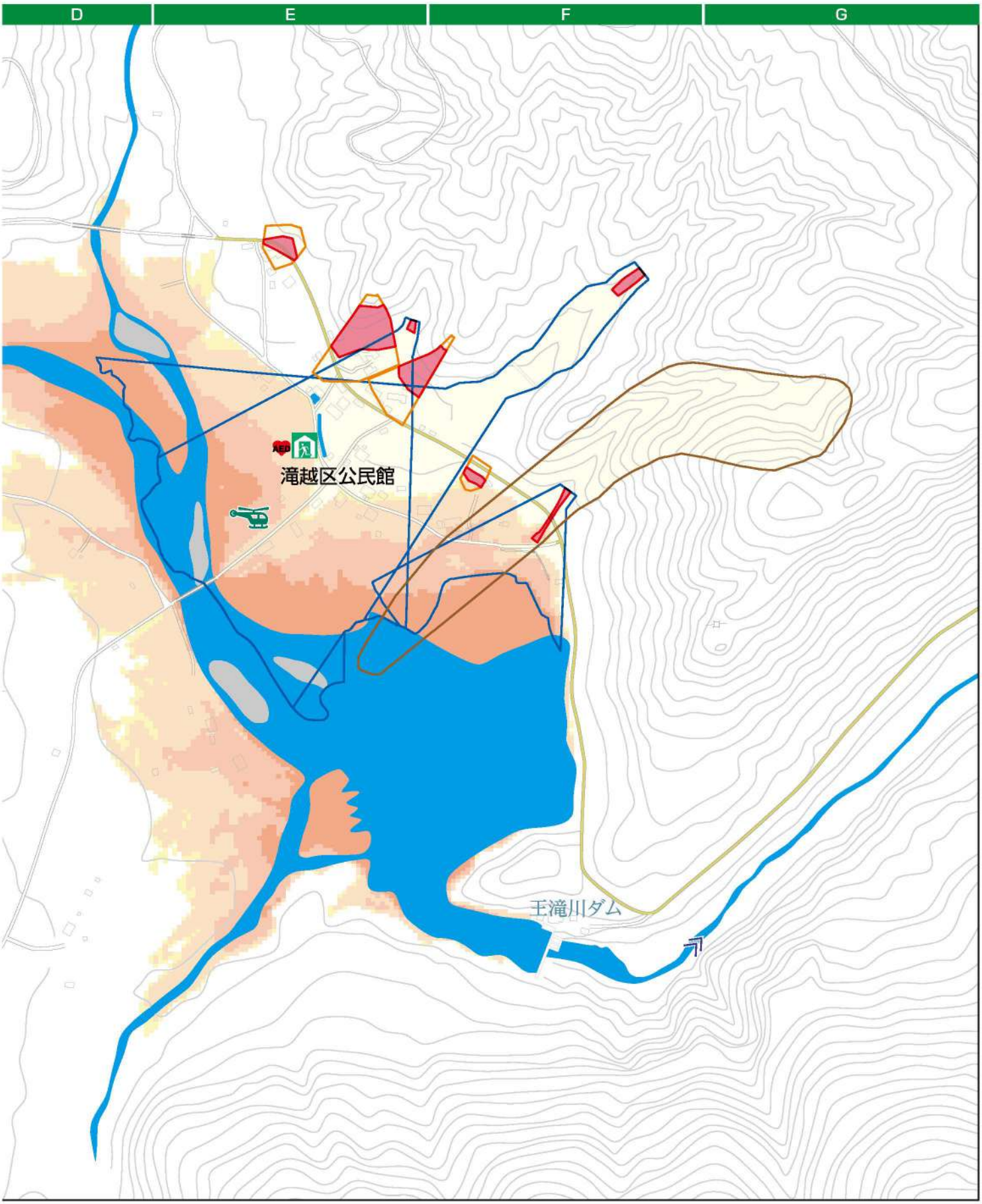
180m



凡例　地図記号		
指定避難所	水位計	郵便局
指定緊急避難場所	AED設置箇所	診療所
福祉避難所	役場	主要地方道・県道
ヘリポート	駐在所	主要村道
河川カメラ	消防団	市町村界

凡例（浸水想定区域）想定最大規模	
浸水した場合に想定される水深	浸水想定区域
20.0m以上の区域	
10.0～20.0m未満の区域	
5.0～10.0m未満の区域	
3.0～ 5.0m未満の区域	
0.5～ 3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

土砂災害　凡例
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域（土石流）
土砂災害警戒区域（急傾斜）
土砂災害警戒区域（地すべり）



王滝村　指定避難所・

■ 指定避難所

番号	施　設　名	所在地	電話番号	収容人数	地図番号	災害種別		
						地震	土砂災害	洪水
1	王滝村国民体育館	上条3557	—	360	5・8	○	○	○
2	王滝村保育所	下条2823	0264-48-2549	110	4・5	○	○	○
3	王滝小中学校体育館	下条2753	0264-48-2528	200	4・5	○	○	○
4	二子持区集会施設	二子持402-3	—	50	2	○	○	○
5	牧尾ふるさとの家	崩越1036-9	—	80	3	○	○	○
6	中越区公民館	中越2453	—	30	4・5	○	○	○
7	東区公民館	東3325-3	—	40	5・8	○	○	○
8	御嶽山岳歴史文化会館	大又3152-18	—	30	9	○	○	○
9	高齢者コミュニティセンター	上条3668-2	—	60	5・8	○	○	○
10	九蔵区集会施設	九蔵4221-79	—	40	10	○	○	○
11	野口区公民館	野口4423	—	40	5・6	○	○	○
12	滝越区公民館	滝越5101-3	—	30	18	○	○	○
13	王滝村保健福祉センター	下条2830-1	0264-48-3155	320	4・5・8	○	○	○
14	野口コミュニティセンター	野口4374-11	—	80	5・10	○	○	○

■ 指定緊急避難場所

番号	施　設　名	所在地	電話番号	地図番号
1	王滝小・中学校校庭	下条2753	0264-48-2528	4・5・8
2	王滝村保育所園庭	下条2823	0264-48-2549	4・5・8
3	小川テニスコート	小川4093	—	5・10

■ 福祉避難所

番号	施　設　名	所在地	電話番号	地図番号
1	王滝保健福祉センター	下条2830-1	0264-48-3155	4・5

指定緊急避難場所　一覧

■ AED設置場所

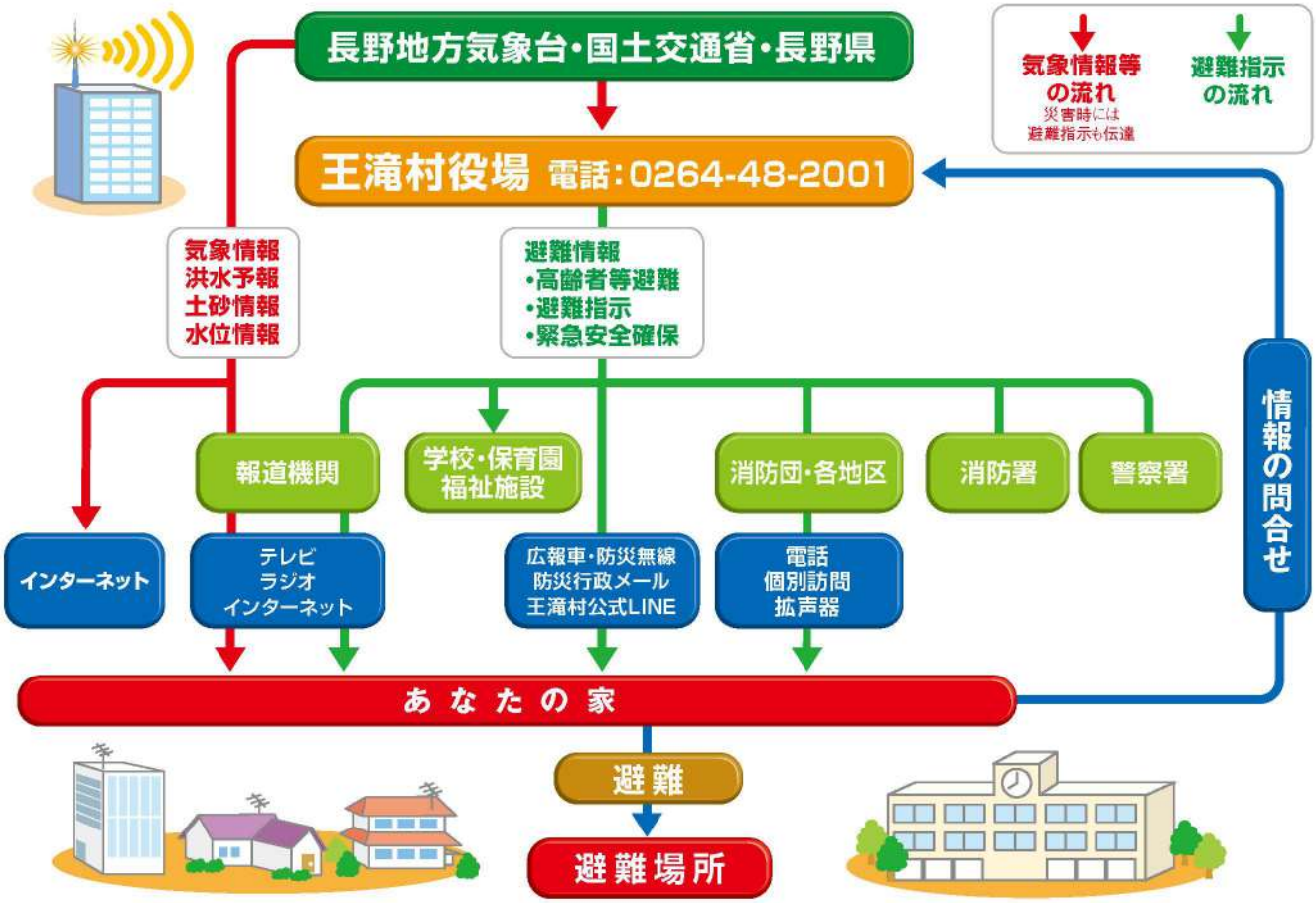
番号	施　設　名	所在地	電話番号	地図番号
1	王滝村役場	下条3623	0264-48-2001	4・5・8
2	王滝村保健福祉センター	下条2830－1	0264-48-3155	4・5・8
3	王滝村保育所	下条2823	0264-48-2549	4・5
4	王滝村公民館	下条2758－1	0264-48-2134	4・5・8
5	王滝小・中学校	下条2753	0264-48-2528	4・5・8
6	王滝村国民健康保険診療所	下条2857－1	0264-48-2731	4・5・8
7	松原スポーツ公園管理棟	野口4713－2	—	6
8	滝越区公民館	滝越5101－3	—	18
9	田ノ原ビジターセンター ※夏期のみ（やまテラス）	田ノ原	0264-24-0505	17
10	田ノ原遥拝所 ※夏期のみ	田ノ原	—	17
11	りんどう平管理事務所	東3159-248	0264-48-3322	13
12	御嶽スキー場	八海山	0264-48-2240	16

■ 防災関係機関連絡先

	施設名	住所	電話番号
警察署	木曽警察署	木曽町新開2324-1	0264-22-0110
	王滝村駐在所	王滝村2731-1	0264-48-2412
消防署	木曽広域消防本部　木曽広域消防署	木曽町福島3737	0264-22-0119
医療機関	長野県立木曽病院	木曽町福島6613-4	0264-22-2703
	王滝村国民健康保険診療所	王滝村2857-1	0264-48-2731
県の出先機関	木曽建設事務所（総務課）	木曽町福島2757-1	0264-25-2237
	木曽地域振興局（総務管理・環境課）	木曽町福島2757-1	0264-25-2211
	木曽保健福祉事務所	木曽町福島2757-1	0264-25-2231

避難情報・気象情報

情報の伝達経路



防災・気象情報の入手方法

パソコン・スマートフォン

気象情報	長野地方気象台	▶https://www.jma-net.go.jp/nagano/
	気象庁（キキクル）	▶https://www.jma.go.jp/
河川水位情報	長野県　河川砂防情報ステーション	▶https://www.sabo-nagano.jp/
土砂災害警報情報	国土交通省　川の防災情報	▶https://www.river.go.jp/
	気象庁　土砂災害警戒情報	▶https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/doshakeikai.html
スマホ版	長野県 河川砂防 情報 ステーション / 川の 防災情報（スマホ版） / 川の 防災情報（English） / 川の 水位情報	
木曽防災・暮らしの掲示板	https://pad.kiso.ne.jp/	
LINE	王滝村公式LINE	〈登録方法〉右の二次元コードを読取り、登録を行なって下さい。
信州防災アプリ	災害にそなえ、防災を学ぶ。ふだんも、いざという時も役立つ。スマートフォンにダウンロードして、いざというときに備えて下さい。	android / iOS
ラジオ	NHK長野第1 ▶981kHz	NHK長野第2 ▶1602kHz / NHK FM 長野 ▶82.9MHz
	信越放送（SBC）▶1098kHz	FM 信越放送（SBC）▶94.2MHz / FM 長野 ▶88.3MHz

避難情報（警戒レベル）の発令

王滝村では、災害が発生するおそれがある時、または発生した時に、避難に関する情報を発令します。

■警戒レベル4 避難指示までに必ず避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）		
				防災気象情報（警戒レベル相当情報）		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等		浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞						
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	――
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	――	――

河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難するタイミング

- **明るいうちに**
- **暴風になる前に**
- **異常を発見したら**（がけ崩れの兆候、河川付近では水位の上昇など）

適切な避難行動をとりましょう

洪水や土砂災害などで自宅が危険なときは、避難所に避難するという行為はとても重要ですが、実際に災害が直近に迫っていて、時間的な猶予がない場合などには、避難行動をとることが、逆に危険を招くこともあります。状況に応じて行動しましょう。

避難所へ行くことだけが避難ではありません。

「避難」とは「難」を「避」けること。

立ち退き避難（水平避難）	屋内安全確保（垂直避難）
避難所等などに避難すること	自宅や近隣の丈夫な建物の２階などに避難すること

一人ひとりが自らの判断で避難行動をとることが原則です。災害から命を守るためには、自分の地域や身の回りの危険な場所を事前に確認して、いざという時にどのような避難行動をとればよいか日頃から考えておきましょう。

風水害への備え

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

大雨情報をキャッチしたら、
我が家で安全対策を始めましょう。

大雨特別警報の基準

大雨特別警報の発表基準
台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。

大雨注意報・警報の発表基準

大雨注意報 大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。

発表基準		
	表面雨量指数	9
	土壌雨量指数	121

※王滝村の場合

大雨警報 大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。

発表基準		
	表面雨量指数	13
	土壌雨量指数	152

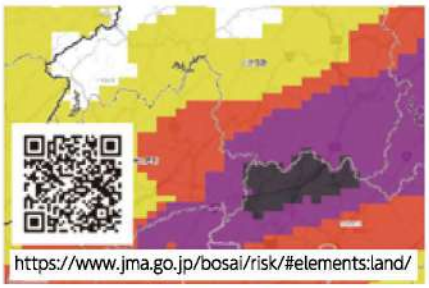
※王滝村の場合

※表面雨量指数とは、降った雨が地表面にどれだけ溜まったかを、数値化したもの
※土壌雨量指数とは、土壌中に貯まっている雨の量を土壌浸透や流出等を用いて計算したもの

気象庁 キキクル（危険度分布）について

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

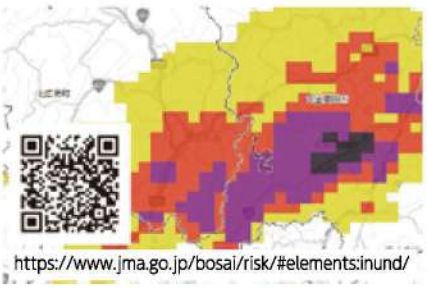
土砂キキクル 大雨警報（土砂災害）の危険度分布



紫：崖・渓流の近くは危険

高 危険度 低
- 災害切迫 【警戒レベル５相当】
- 危険 【警戒レベル４相当】
- 警戒 【警戒レベル３相当】
- 注意 【警戒レベル２相当】
- 今後の情報等に留意

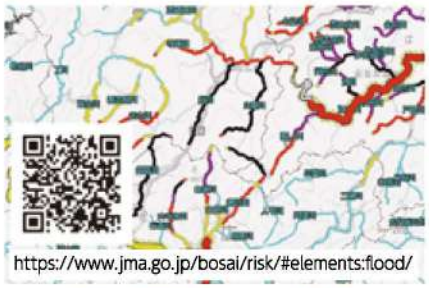
浸水キキクル 大雨警報（浸水害）の危険度分布



紫：低地は危険

高 危険度 低
- 災害切迫 【警戒レベル５相当】
- 危険
- 警戒
- 注意
- 今後の情報等に留意

洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



紫：河川沿いは危険

高 危険度 低
- 災害切迫 【警戒レベル５相当】
- 危険 【警戒レベル４相当】
- 警戒 【警戒レベル３相当】
- 注意 【警戒レベル２相当】
- 今後の情報等に留意

※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元バーコードの読み取りができない場合があります。 （ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集）

近年、狭い範囲に短い時間で強い雨を降らせる「局地的大雨」や線状降水帯の停滞による「集中豪雨」などによって、人の命が奪われるケースが起きています。河川の氾濫や土砂災害などによる大きな被害が予想されますので、気象情報に十分注意し、早めの避難など万全の対策をとるようにしましょう。

局地的大雨・集中豪雨の危険について

■短時間で危険な水位

河川、渓流、用水路などは、激しい雨が降ることや、まわりから雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。

■注意報や警報が出ない雨でも災害が発生する

大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達していないわずかな雨でも、災害が発生するおそれがあります。

■離れた場所の雨でも影響する

自分のいる場所で強い雨が降っていなくても、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合があります。

雨の強さと降り方（1時間雨量）

10～20mm未満 やや強い風

雨の音で、話し声がよく聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。

20～30mm未満 強い雨

どしゃ降りで側溝や小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。

30～50mm未満 激しい雨

バケツをひっくり返したような雨が降る。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。

50～80mm未満 非常に激しい雨

滝のように雨が降り、土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。

80mm以上 猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方（平均風速）

10～15m/秒 やや強い風

風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。

15～20m/秒 強い風

風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。

20～30m/秒 非常に強い風

何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。

30m以上/秒 猛烈な風

屋外での行動はきわめて危険。

洪水について

洪水のメカニズム

洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。

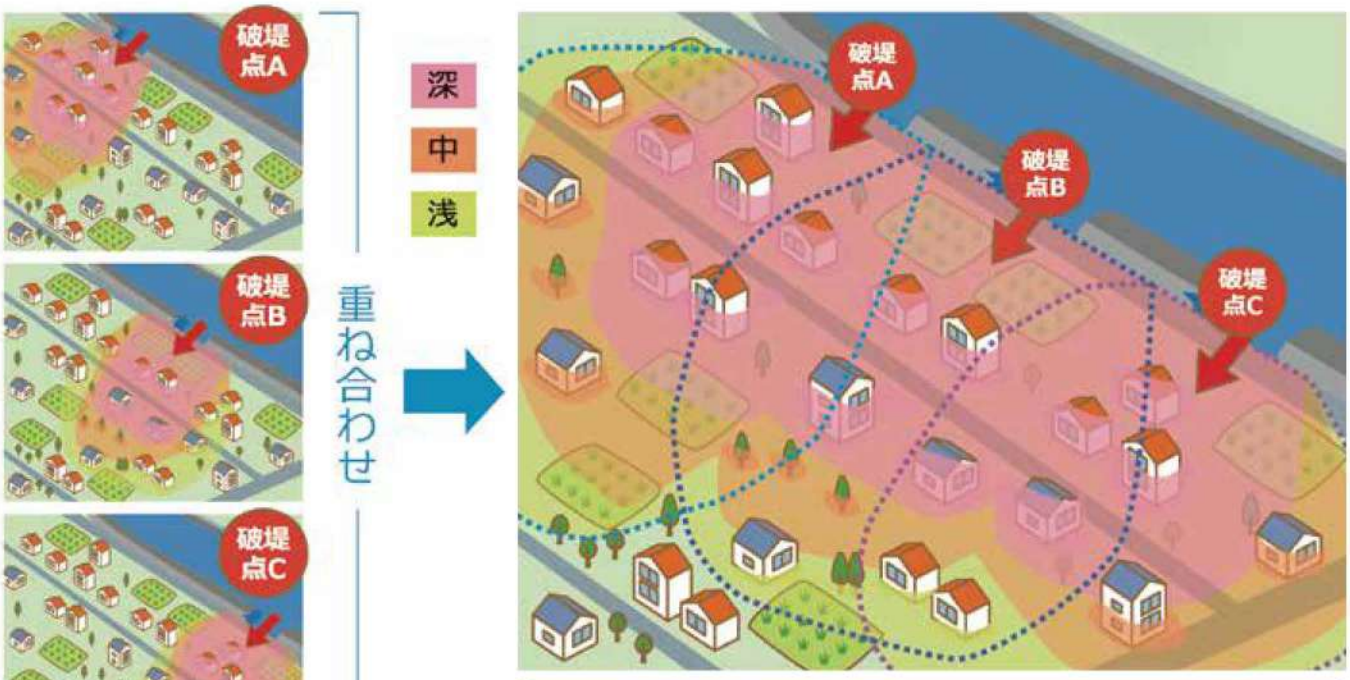
大雨などにより川の水が堤防いっぱいまで増えると、土でできた堤防に水の圧力がかかります。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると、堤防の一部が崩れ始めます。

堤防の崩れた場所を通って勢いよく水が流れ出し、家におそいかかります。

洪水浸水想定区域の考え方

全ての破堤点（堤防が決壊すると想定した箇所）について、どう氾濫し、浸水するか、それぞれの箇所で氾濫解析シミュレーションを行い予想しています。



マップに示した想定は、全ての予想結果を重ねあわせた最大の区域と深さを表示しています。実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がります。

長野県（河川の浸水想定区域図について）

https://www.pref.nagano.lg.jp/kasen/infra/kasen/bosai/shinsui/

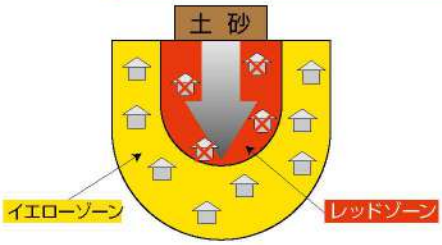
二次元コードから
サイトにアクセス

土砂災害について

土砂災害は、がけ崩れ・地すべり・土石流といった自然現象で地震や雨により発生しやすくなります。

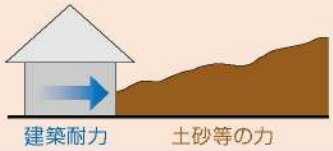
警戒区域と特別警戒区域の設定

基礎調査により 土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン) 土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン) を設定しています。



特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域



土砂等の力と建築物の耐力を算出し、比較判定により設定する

警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域

◎地形条件で設定する
・過去に発生した災害の実態から定められた地形の条件

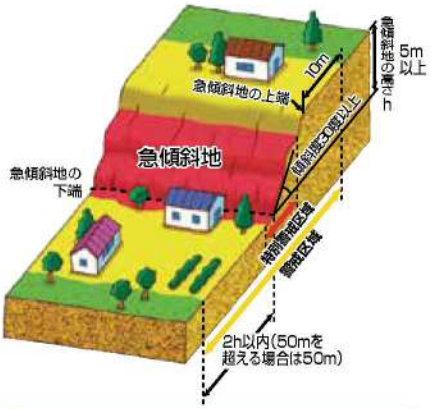
○急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
・傾斜度が30度以上で、高さが5m以上 の区域
・急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
・急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍の区域(最長50m)

○土石流
・土石流の発生の恐れがある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

○地すべり
・地すべり区域
(地すべりしている区域または地すべりする恐れがある区域)
・地すべり区域の下端から地盤ごとに動き出す区域の長さに相当する距離(最大250m)の区域

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

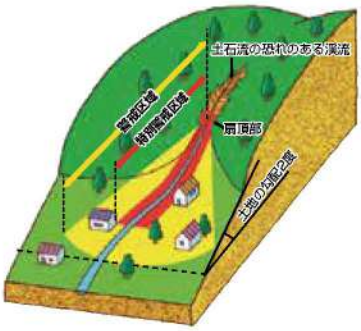
がけ崩れは、急な斜面が大雨や長雨によって緩み、突然崩れ落ちる現象で、避難が遅れがちになります。



■前兆現象
○がけから水が湧きだす。
○がけに亀裂が入る。
○小石がパラパラと落ちてくる。

土石流

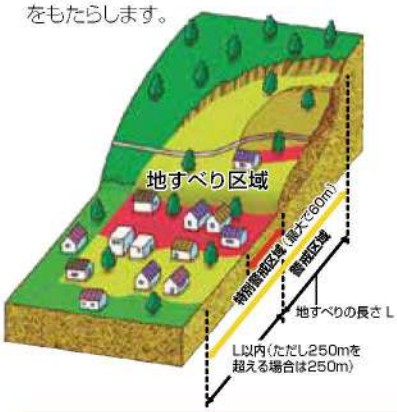
土石流は、谷や渓流から、土砂や石、木を含んだ濁流が一気に下流へ押し流される現象です。速度が速く大きな破壊力を持っています。



■前兆現象
○山鳴りがする。
○雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
○川の流れが濁ったり、流木が混ざり始める。

地すべり

地すべりは、広い範囲の地盤がゆっくりと動き出す現象です。
速度は緩やかですが、発生すると大きな被害をもたらします。



■前兆現象
○地面がひび割れたり陥没する。
○沢や井戸の水が濁る。
○斜面から水がふき出す。

情報を取得して早めに避難! 重要な情報を逃がさないよう、災害情報に注意し速やかな避難を心がけましょう。

長野県河川砂防情報ステーション

河川砂防情報ステーションのホームページでは県内の河川・砂防に関する情報を提供しています。

パソコン **https://www.sabo-nagano.jp/dps/**
携帯電話 **https://www.sabo-nagano.jp/sp/**

●緊急情報 ●警報・注意報/土砂災害警戒情報 ●洪水予報 ●土砂災害危険度/雨量予測
●雨量 ●水位 ●ダム ●カメラ画像 ●防災知識

二次元コードから
サイトにアクセス

マイ・タイムライン

作成年月日：　　年　　月　　日

「マイ・タイムライン」とは風水害（台風や大雨など）に備えて、前もって自分のとるべき行動を整理し、時間軸にまとめて作成する避難行動計画です。

家族構成や生活環境に応じて、避難行動は変わるため、その内容は家族によって異なります。
マイ・タイムラインを作成することによって「いつ」「何を準備して」「どのタイミングで」「どこに逃げるか」が明確となり、いざという時にあわてずに行動することができます。

ぜひ、家族で一緒に話し合って作成しましょう。作成後はすぐに取り出せる位置に置いておきましょう。

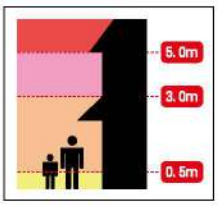
平常時の準備

必要な事項を記入し、□の当てはまる個所にチェックマーク✓を入れましょう。

①王滝村ハザードマップで確認しよう！

あなたの家は浸水区域に入っていますか？

□ 5.0m以上　□ 0.5m未満
□ 3.0～5.0m　□ 0m（白色）
□ 0.5～3.0m



あなたの家はどのような区域にありますか？

□ 土砂災害警戒区域　□ 避難の必要がない区域
□ 土砂災害特別警戒区域　□ 浸水区域（白色以外）

家族で決めた避難場所はどこですか？

□ 自宅の上階（垂直避難）
□ 近くの避難所……
□ 親戚・知人宅 ……
□ 頑丈な建物 ……
□ その他 ……

避難所は指定避難所だけではありません。
どの施設等への避難が家族にとって適切か複数の案を考えましょう。
例：親戚・知人の家、近くの浸水しない建物など

具体的な場所　　複数記載しましょう！

②避難に必要なことを備えましょう

家族や近所で避難に時間がかかる人はいますか？

□ お年寄り　□ 乳幼児
□ 障がい者　□ 妊婦
□ 病気の人　□ その他（　　）

非常持ち出し品（備蓄品）を準備しましょう

下段のチェック表で確認

備蓄品には、感染症対策としてマスク・体温計・タオル等を持参してください

非常持出品チェック表（両手が自由に使えるよう、リュックサックに入れておく）

非常食・水	貴重品	救急医療品	乳児・妊婦用品	感染症対策
□飲料水 □保存食・レトルト食	□現金 □通帳、印鑑 □マイナ保険証、免許証 □キャッシュカード・マイナンバーカード	□常備薬 □持病薬 □簡易救急セット □ウェットティッシュ	□母子健康手帳 □ミルク □おむつ □離乳食	□消毒用品 □体温計 □マスク
防災用品	**衣類等**	**日用品**	**高齢者・障がい者等**	**その他**
□懐中電灯 □携帯ラジオ、電池 □携帯電話、充電器 □ポリ袋 □軍手	□下着、靴下 □マスク □眼鏡、コンタクトレンズ □雨具 □生理用品、おむつ	□洗面具、タオル □筆記用具 □ティッシュ □簡易トイレ	□介護用品 □入歯・補聴器 □障害者手帳 □補助具（杖など）	□モバイルバッテリー □

雨が強くなる前に準備

避難行動を開始

身の安全を確保

台風や前線が発生！

被害発生数日前

水位情報	警戒レベル相当情報	避難情報
水防団待機水位		レベル 1 早期注意情報
はん濫注意水位	洪水注意報 大雨注意報	レベル 2 注意報発表
避難判断水位	洪水警報 大雨警報	レベル 3 高齢者等避難 避難に時間がかかる人は避難を開始してください その他の人は避難準備をしてください
はん濫注意水位	土砂災害警戒情報	レベル 4 避難指示 危険な場所から全員避難を開始してください
	大雨特別警報	レベル 5 緊急安全確保 逃げ遅れてしまったら、近くの高い建物や家の2階など高い場所で命を守りましょう

避難する前の準備を考えよう！

- □ 避難所、避難経路の再確認
- □ 家族の予定や連絡手段を確認
- □ 非常用持出品の再確認
- □ 病院に薬をもらいにいく
- □ 携帯電話、モバイルバッテリーの充電
- □ 大切なものを2階に上げる
- □ 家の周りにある風に飛ばされそうな物の片付け
- □ 農作物の管理
- □
- □

ペットや介護等が必要な家族がいる場合は、あらかじめ浸水しない施設や親戚などに預ける等検討しましょう

避難時の注意点などを考えよう！

- □ テレビやインターネットで避難情報を確認
- □ 動きやすい服に着替える（靴は運動靴など）
- □ 近所の高齢者の方などに声かけする
- □ ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る
- □ 戸締りの確認
- □
- □

長靴は中に水が入って脱げてしまいます
運動靴など脱げにくい靴で逃げましょう

いつ避難するか考えよう！

わたしが避難するタイミングは（第1優先）

いつ ［　　］

どこ ［　　］へ

手段 ［　　］で逃げます

わたしが避難するタイミングは（第2優先）

いつ ［　　］

どこ ［　　］へ

手段 ［　　］で逃げます

※洪水は自然現象ですので、マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません
河川情報、気象警報、避難情報などをこまめに収集し、臨機応変に防災行動の実行を判断しましょう

今すぐ記入を! わが家の防災メモ

● 家族の集合場所・連絡先＝

● 緊急連絡先

氏　名	電話番号(携帯番号)	氏　名	電話番号(携帯番号)

● かかりつけの病院・医師

家族の氏名	病院・医師名	連絡先

● 使用している薬
(特に重要なもの
例：抗てんかん剤、
抗凝固薬など)

家族の氏名	薬　名

● 避難施設

災　害	避難施設	一次避難場所
洪　水　時		
土砂災害時		
地　震　時		

災害時の「声の伝言板」

災害用伝言ダイヤル
「171」

伝言を録音する場合 → 171をダイヤル → 1をダイヤル → 連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル 0264-XX-XXXX 090-XXXX-XXXX 080-XXXX-XXXX → 伝言をお話しください

伝言を再生する場合 → 171をダイヤル → 2をダイヤル → 連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル 0264-XX-XXXX 090-XXXX-XXXX 080-XXXX-XXXX → 伝言をお聞きください

災害用伝言板
「Web171」

https://www.web171.jp/ へアクセス → 連絡をとりたい方の電話番号を入力

※伝言の登録・確認ができます

発　行　王滝村役場　総務課　王滝村3623　TEL. 0264-48-2001(代)　令和7年3月